SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

日本將來の家庭……西川文子
■森、道路の歌、雲　一記者
Mさんの夫……日向きむ
■婦人論八ッ當り　八方睨婦
海外婦人文藝消息……中尾淸太郎
■イプセン夫人■短歌、俳句
海外婦人運動消息……柳子
■パーキンス嬢を訪ふ　西川文子
羽ばたき……三野村きよ
■愛の力(下)　廬古愛子
世界平和運動功勞第一の シュットネル男爵夫人……西川光次郎
■奥様十表(下)　玉露女
イヴの家庭教師……みをつくし
■故郷に歸りたる時の感　吉川たみ子
死に行く身……小口みち子
■小笠原父島より■朝鮮平壤より■北海道より
戀の會の記……夕の字

八月號　(第十六號)

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可　大正三年八月一日發行（毎月一回一日發行）大正三年七月二十八日印刷納本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上學力尋常小學卒業以上品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電本）八八八（病院用）
（八九八（自宅用）

東洋內科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話　ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

是正直なる告白也

新眞婦人は正に現代の婦人界を覺醒せしむべき最良の機關雜誌なり！——而して

卽席カレー

は正に現代の要求に應じ得べき最も進步せる優良なる食料品なり調理法の輕便と美味と經濟!! 家庭に避暑に!!!

カレー、ライス
カレー、フェッシュ
カレー、チキン
カレー、ウンドン
カレー、スープ
其他數種に應用

東京久松町
岡本商店食品部
電話浪花二九四一

十五人前　金參拾錢
廿五人前　金四拾錢

販賣店は到る處洋食料品店酒店乾物店肉屋等

お料理の栞無代進呈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八月號目次

口繪　シユツトネル男爵夫人

散文詩（森、道路の歌、雲）　一記者……（一）

日本將來の家庭　西川文子……（三）

小泉八雲の抱車夫試驗問題

Mさんの夫　日向きむ……（七）

海外婦人文藝消息　中尾淸太郎……（九）

海外婦人運動消息　柳子…（一三）

羽ばたき　三野村きよ…（一五）

婦人論八ツ當り　八方醜婦…（二三）

世界平和運動功勞第一のシユツトネル男爵夫人　西川光次郎…（三一）

イプセン夫人

新眞婦人短歌

イヴの家庭教師（下）　みをつくし…（三六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

パーキンス嬢を訪ふ　西川文子…（四〇）
死に行く身　小口みち…（四一）
愛の力（下）　座古愛子…（四五）
新眞婦人俳句
お轉婆帖　霜野せき子…（五〇）
奥様十姿（下）　玉露女…（五一）
故郷に歸りたる時の感　吉川たみ子…（五五）
小笠原島より　吉田庄七…（五七）
平壌より　栗原陽太郎…（五八）
北海道より　吉川たみ子…（六〇）
戀の會の記　夕の字…（六〇）
七夕に寄る戀の歌十首　小口みち…（六四）
新刊紹介、編輯餘錄、本誌擴張に就て
本社相談部、投書募集、

八月一日發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

產科婦人科
小兒科

（宅診午前
往診午後）

女醫 井出茂代

內藤新宿番衆町三一

電話番町三六七七番

リウマチス

▼全治御望の方はハガキにて御症状を記し御申越あれば十數年不治とおあきらめなされたリウマチも實に驚く程よくナオル神秘靈劑……弊店家傳の秘藥を御知らせ致します御全快の皆様から日々澤山の感謝狀を下されます

東京市淺草觀音
仲見世 天勇横町

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

皮膚科 梅毒科

腎、膀胱、尿道、睪丸、攝護腺ノ疾患

泌尿器科

生殖器科

男女生殖器機能障害

婦人科

診察時間

午前八時ヨリ十二時
午後四時ヨリ七時

日本橋區通二丁目白木屋出口前

ドクトル メヂチーネ

中島鎌太郎

電話本局三九八〇番

（支　店）京城　大阪　仙臺

（出張所）京都・廣島・名古屋・金澤・九州・臺灣

東洋生命保險株式會社

東京市日本橋區本町一丁目十一番地

電話本局　四五一〇番・四五一一番・四五一二番・四五一三番

振替貯金口座一七九一番

本社　東京市京橋區銀座一丁目六番地

電話
京橋　六四一番
同特長　六四二番
同　六四三番

振替貯金口座東京二〇、七五〇番

○生命保險界の一新機軸

東海生命保險相互會社

○最も進歩せる相互組織

支部

大阪市東區高麗橋一丁目二十三番地
電話長東二、二五七番
振替貯金口座大阪一〇、三〇〇番

福岡市博多馬場新町八番地
電話福岡特長五八八番
振替貯金口座福岡三、一〇〇番

監督所

仙臺市東八番町九〇　電話八七四
廣島市下流川九　同一〇八七
金澤市十三間町一六　同一、一七二
名古屋市中區松枝町一ノ一七　同三、五二六
京城大和町三丁目新道　同一、四六二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

旅行家は山も海も

神仙萬金丹。

御携帯あれ

拾歩以上敢推

東京銀座 松澤

鐘淵紡績株式會社第五十五回決算報告

損益計算

一 總收入金	三三、八二六、七五〇・一九六
一 總支出金	三一、六八四、九三四・七三五
差引	二、一四一、八一五・四六一
内 一 東京本店增設織布工場創業費	一八、五六五・七二一
一 固定資產償却金	三〇〇、〇〇〇・〇〇〇
再差引	
一 當期純益金	一、八二三、二四九・七四〇
一 前半期繰越金	一、八四二、二五九・二一一
計	三、六六五、五〇八・九五一
内 株主配當金	八九七、九九七・八〇〇
但年一割二歩（舊株一株ニ付金三圓 新株一株ニ付貳圓十錢）ノ割	
當期特別配當金	二九九、三三二・六〇〇
但年四歩（舊株一株ニ付金一圓 新株一株ニ付金七十錢）ノ割	
諸種積立金	一五〇、〇〇〇・〇〇〇
使用人病傷老衰退職恩給資金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
職工幸福增進資金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	八〇、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	二、〇三八、一七八・五五一

右報告候也

大正三年七月

東京府南葛飾郡隅田村

鐘淵紡績株式會社

取締役會長 日比谷平左衛門　取締役 長尾良吉

專務取締役 武藤山治　同 山口武

取締役 高辻奈良造　同 永江純一

同 岡本貞烋　同 前山久吉

同 藤正純　同 山口八左右

右審査候處相違無之候也

監査役 平賀敏　監査役 清岡邦之助

同 野崎廣太　同 安田善三郎

同 筑紫三郎

音譜販賣政策變更!!!

均一制度の大提供!!!

今回赤ローヤル、黒ローヤル、アメリカン及び天使印等の種類別による値段を廢し兩面、片面の貳種と致しました、右に各位御注文の便を旨とし納且弊社工場を初め四十餘個所の出張所及び參百五十有餘の特約店事務を簡易ならしめる事が出來ますから從つて左の均一値段を提供する事と致しました

御望みの**片面盤**何んでも**金一圓也**

同　**兩面盤**同　**金一圓五十錢**

器械番號の變更!!!

從來十五圓及び二十圓で販賣して居りました器械が全部賣切れとなりましたに就ては新規に同様價格のものを賣出す様皆様の御勸が數くありますので遂に**十七號**と**二十二號**の兩器械を此際**十五號**及**二十號**と變更して販賣致す事としました然し右の口も數量に限りがありますから賣切れない内に御買求あらん事を御勸め致します

株式會社 **日本蓄音器商會**

神奈川縣川崎町(電話川崎四九)

平和の天使シユツトネル夫人（記事參照）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小兒科

哺乳兒小兒內科
小兒耳鼻咽喉科
小兒皮膚病科

東京市神田區裏猿樂町

延壽堂病院

電話本局長一八〇〇、一五五一

醫學博士　三輪信太郎
醫學士　井上吉之助
ドクトル メヂチーネ　向井督
醫學士　山崎開二
慈專醫學士　田澤信四郎
醫學得業士　中西正道
慈專醫學士　津金巨摩雄

銀座一丁目河岸通（電話京橋 八一五 八一六 三一四）

帝國貯蓄銀行

飯倉支店　飯倉三丁目
赤坂支店　赤坂表町
四谷支店　四谷大通り
本郷支店　本郷一丁目角
神樂坂支店　牛込神樂坂上
吾妻橋支店　淺草花川戸
須田町支店　神田須田町
兩國支店　兩國元柳町
品川支店　南品川一丁目
横濱支店　横濱戸部町
代理店　日本橋坂本町田中銀行

◉一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候◉毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

株式會社

東海銀行

本店　日本橋呉服町
堀江町支店　日本橋堀江町
本郷支店　本郷三丁目
赤坂支店　赤坂田町
本所支店　本所龜澤町
京橋支店　京橋尾張町
三田支店　芝三田一丁目
淺草支店　淺草並木町

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正博覽會に於て
金牌受領す
內外幾多香水中原料香水
オリヂナル
畏れ多くも又々
宮內省御買上
の光榮を賜はる

如何にオリヂナルが他の香水に優つて居るかは明かに證明が出來る

●一瓶　金一圓廿錢　●新小瓶　卅錢
●懷中用ポケットオリヂナル　一圓廿錢

◉僞物、摸造品續々現はる安藤發賣元に御注意を乞ふ

カオール
エレハント　本舖　東京日本橋區水天宮前　安藤井筒堂
電話浪花一一四六番二九四九番
振替口座東京二九五〇番

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　參百四拾萬圓

東京市日本橋區小舟町
株式會社　第三銀行
電話浪花　四四二　四五一　四五六〇　四五六一

監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
常務取締役　安田善八郎

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後

醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

わきが ジベルジ散

凡そ世に『ワキガ』を患ふる者程人に忌せられ又人に對し氣のひける難病はあらざるべし如何に資産あるとも又如何に容姿の艶麗なる美人好男子にして身には錦繡の衣裳を纏ろとも交際場裡に立つ事能はず又折角己が理想とせる又と得難き**良縁**も『ワキガ』の爲めに妨げられ幸福なる家庭を作る能はずして一生涯不愉快なる月日を送るもの世に少なからず嗚呼世に『ワキガ』を患ふる男女の心中果して如何あらん弊堂今回同病患者に同情の結果斯道の大家を以て聞えたる**全生醫院長 賀來寛一郎先生**が數十年來此病患者に實地御試驗の結果効能卓絶なるを證明せられたる處方を同先生示導の下に調劑擴く發賣する事となせり直接同先生に診療を受くること能はざる人士又は遠隔の地に住居せらる、患者諸子は速かに本劑「わきがジベルジ散」を用ひて不幸なる難病を除き天與の幸福を全ふせられん事を希ふ

ジベルジ散

東京麻布霞町電車停留場際

小器壹圓 中器貳圓
大器參圓 特製五圓
送料各八錢
切手代用一割增

製造販賣元 信美堂藥房

（電話芝三六九八）振替東京一九五〇八番

株式會社 尾張屋銀行 第貳拾九期營業報告

貸借對照表

負債之部

諸預り金	四、壹七貳、貳九六・八六七
資本金	壹、○○○、○○○・○○○
積立金	七○○、○○○・○○○
滑貸準備金	壹九○、○○○・○○○
他店爲替借	壹六六、六九參・○六○
當期純益金	參六、參參九・七八七
合計	五、參壹四、參貳九・七壹四

資産之部

未拂込資本金	六○○、○○○・○○○
貸付當座貸越	壹、五八九、參五六・四壹○
割引手形	壹、八六○、○五六・九五○
有價證劵	參四壹、五四貳・貳○○
他店爲替貸	壹六、七九○・八六○
所有地所建物	貳壹四、貳六○・壹七○
營業地建物什器	壹○○、四○六・五八七
預ケ金及金銀	五九壹、九壹六・五參七
合計	五、參壹四、參貳九・七壹四

利益金勘定

純益金	參六、參參九・七八七
内 積立金	五、○○○・○○○
滑貸準備金	壹、○○○・○○○
役員賞與金	貳、七五○・○○○
配當金(年八朱五厘)	壹七、○○○・○○○
後期繰越金	壹○、五八九・七八七

右之通ニ候也

東京市日本橋區元濱町壹番地

尾張屋銀行

大正參年七月貳拾日

取締役頭取 峰島茂兵衛
常務取締役 佐藤長之助
同 小島長次郎
取締役 笠木吉兵衛
同 小泉治兵衛
同 資部清兵衛
同 小島長兵衛

右調査ヲ遂ゲ正確ナルヲ保證候也

監査役 町田平三郎
同 笠木基次郎

書籍取次販賣

▲婦人解放論(西川文子著)

定價金一圓　送費八錢　一割引

▲新式婦人の化粧(遠藤はつ子 小口みち子 合著)

定價六十五錢　送費四錢　一割引

▲新眞婦人(自一號 至十二號)合本

一冊一圓　送費八錢　一割引

其他本紙へ廣告の書籍は定價の一割引にて御注文に應じ讀者諸君の便利を計る考へですから、入用の書籍ある方々は申込んで下さい

東京本郷區駒込林町二〇六
振替口座東京二四五五六　新眞婦人社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市麹町區内幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇〇番

太平生命保険株式會社

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　内野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫

取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎

監査役　潮田方藏
監査役　左右田信二郎
監査役　中田敬義

●内科一般

●小兒科（入院隨時）

●外科

●婦人科

花柳病（梅、りんち横痃）

包莖成形手術

わきが根治手術

腦神經衰弱症

診察時間 午前六時より八時迄 午後五時より十一時迄

實費診療所 診察無料

下谷區上野町二丁目二十五番地（御徒湯隣）

專門醫 星合醫院

院長 星合啓之助

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出 生徒養成

東京衛生園 產婆看護婦部

東京市芝區三田四國町二番地五號 電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思想と生活と

■高野重三先生著（既刊好評嘖々）

婦人問題早わかり

●附「婦人と勞働」

著者は我邦に於ける眞面目なる婦人問題研究者中のオーソリテイであります。未だ我國に最新の學理に基いて、平易簡明且つ根本的に婦人問題を説明した書籍のないことを遺憾とし、多年の蘊蓄を傾け、其趣味と靈感とに充ちたる筆を揮つて、此書を著はされたのであります。殊に附錄オリブシユライネル女史の「婦人と勞働」は歐米に於て、最新婦人問題のバイブルなりと稱せられ、目下歐米各國にて盛に飜譯されつゝある名著です。高野先生も此を抄譯して、卷末に添へたのであります。

四六版クロス製
定價金七拾錢
郵稅金六錢

■東京割烹研究會編纂

家庭和洋割烹辭典

家庭經濟の玉手箱。一家和樂の泉源

四六版箱入美本
定價壹圓八拾錢
小包料金十二錢

■版元 東京京橋尾張町 警醒社書店 振替東京五五三番■

新眞婦人第十六號

森

大森林の奥へ這入り込むと、其の大木は大きな柱と見え、茂れる青葉は丸天井と見え、青葉の間から漏れて白くチラつく太陽の光は、蠟燭の火と見え、而して風が葉と小枝を動かす音と、蟲、鳥、獸の鳴く音とが相和して音樂の役をつとめる、森は實に自然の禮拜堂である、森に這入れば何人も自然に禮拜の心を起さすには居れぬ。大森林の奥には尚ほ大古のまゝが遺り、神の拵へ玉うたまゝがあるのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

道路の歌

私は朝の道を愛する。空氣には何ほ夜の神秘と沈默が加味されて居り、道傍の草木には露の玉が光つて居り、而して東天紅して日は將に出でんとし、諸鳥は之れに對して朝の讃美の歌を捧げて居る。朝に於ての希望は高し。

ホイットマンの道路の歌に

健かなる足、輕き心にて、大道に立てば、自由なる世界ぞ我が前に開く。我が前に展開する長き褐色の道は、何所へなりとも我を導く。强よく滿足して我は大道を行く。

と云ふのがあるが、早起して大道を歩むの時、此の感殊に深きを覺ゆる。

噫、私共は早起して昨日失敗せし所を、今朝は成功すべく行かねばならぬ、昨日達せざりし所に、今日は達すべく進まねばならぬ。

雲

高山に登つた經驗のある人々は、皆な承知して居る雲は下から見ると何れも黑い雲だが、上から見ると何れも黃金色に見える。丁度其の樣に、品性の低い人には凡てが不平の種であるが、品性の高い人には世に不平の種なるものはない。噫雲よりも高き所に出て見よ雲よりも高き所に出て見よ。

○

金なく時間なくて、海濱に避暑する能はずとも、失望する勿れ、君の窓より雲が見えるではないか。トローは森の次第に切り開かれ行くを悲しんだ文の終りに『されども天に謝す、彼等は雲を切り倒す能はざるなり』と云つてゐるが、ソウです、私共は如何に都會の陋屋より一歩も出づる能はざるにしても、尚ほ雲を見るの自由はある。夏雲奇峯多く、其の變化は無限にして雄大である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本將來の家庭

西川文子

(一) 齋藤中佐夫人の自殺

過日新聞紙は、齋藤中佐夫人自殺の原因を

(1) 夫人はヒステリー症にかゝつて居たこと。
(2) 小供が一人も出來ないために其事を苦にして怏々として樂しまなかつたこと。
(3) 夫に些かなことで叱責せられたこと。

と數へて報道した。私は此の記事を讀んだ時に、之れは例の筆法で精探せずに報道したものであらう、何時も斯かる事のある毎に、女はヒステリーにでもかゝらなくては自殺することの出來ぬものゝ如く報道さるゝのは、全く人を馬鹿にした話であると思うて居たが、果してソウであつた。中佐夫人の事を熟知せる和田文學士は東京朝日新聞に寄書して

中佐が夫人の意味なき失策までも、一々貞操の問題に迄押つめて詰問するので、ソレを苦にしての自殺である。夫人はヒステリーでもなく、又小供は二人まであつたが、不幸にして生育しなかつたので、まだ之れから小供の出來る見込がない程の年輩でもなかつた。

と、夫人の自殺の眞因に就て云はれた。私は夫人自殺の眞因を明白にされた和田學士に感謝する。今後も斯かる事のある毎に、事の眞相を知れる人は其の誤報を訂正せねばならぬ。さて私の心に此の齋藤中佐夫人の自殺に關連して種々な感想が起つた、其の感想を取纏めて少し書いて見ようと思ふ。

(二) 良夫賢父主義の教育

齋藤中佐の如く、些細なことにも夫人の貞操を疑ふものが世に尠ない場合であれば、別に論ずるにも及ば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬことであるかも知れぬが、世に齋藤中佐の如き夫多く、多くの夫人は、直きに夫から貞操上の疑ひを受けてドンナに心細い生活をして居るか知れぬと思ふと、此の際默しては居られぬのである。齋藤中佐の如く甚しくないとしても、世には隨分、夫人の外出を嫌ひ夫人の交際に就て甚しい干渉をする夫が多い、其の爲め死人の樣になつて居る夫人が、世にドレ丈けあるか知れない。

齋藤中佐夫人は飽まで夫には順從なれ、嫁しては夫の家を死所とせよと敎へられた、舊式な婦人である。斯かる舊式な婦人にても、夫が餘りに疑い深くて仕方がないと、遂に今回の事の如きを敢てするに至るのだから、文明の結果として、婦人の智識、婦人の自意識が年々歲々進步しつゝあるのに、男子の婦人に對する態度が、ソレに伴つて進步せざるに於ては、我國の家庭に今後斯種の悲劇が續出するに至ることであらう。

世には新しい女の些細な失言失行を針小棒大にして惡口し、斯かる女の增加することは、我が家庭の爲め我が社會の爲めに悲しむべきことだと云ふ人が多いが私はソウは思はない。私は憂ふべきは新しき女にも、個人主義にもあらずして、舊い男、外の事には新しくても、婦人に對しての方面では舊く、情操の敎育を受けて居ない男子の多いことであると思ふ。

『自覺せよ』『自主的精神を養成せよ』『自治の精神を養へよ』などと云ふ叫びは、今日の經濟制度、今日の政治組織に適應せる倫理訓ではないか。さすれば婦人の中にも此等の叫びを聞きて自覺するものゝ出るのを、寧ろ歡迎し悅こばねばならぬワケではないか。若し婦人が自覺した爲めに家庭や夫婦關係が危くなるものとせばソンナ家庭や夫婦關係は、今から何んと心配しても、早晚必らず破壞さるゝに至るに相違ない。併しソレと共に凡ての家庭、凡ての夫婦關係が破壞されて了ふのではない、反て眞に內容の豐富な家庭は、夫婦相互の間に充分の理解あり、男女共に充分自覺せる場合に現はるゝものと信ずる。

偶にはカライル夫婦の間の樣に、偉いもの同士の結

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婚は其の結婚を不幸ならしむることもあるが、ソレは他に理由あつての例外にて、總じて云へば、ミル夫婦、チスレリー夫婦、詩人ブローニング夫婦、乃至は博士キユリー夫婦の樣に、男女とも偉人であつて、其家庭の愛と平和に滿ち、夫が妻のインスピレーションの源泉であり、妻が夫のインスピレーションの源泉である有樣は、到底舊式な家庭では見ることが出來ない。されば新しい女の出現、自覺せる女の續出を悲しむを要しない、ソレに伴つて男子が新しくなれば、我が家庭が反て內容豐富になると斷言してよいのである。

此の故に良夫賢父主義の教育が必要であると思ふ。今日多くの婦人の苦しんで居るのは職業的に云へば立派な男子、公人としては立派な男子であつても、情の上から云へば全くの無教育、全くの無趣味、原始的の人間に變らぬ男子が多いからである。婦人に良妻賢母の教を仕込み過ぎて、男子の良夫賢父教育が全く缺如て居るからである。

（三） 生の道德

齋藤中佐夫人の自殺に關連して、舊式な男子に一言した私は、玆に舊式な婦人にも一言せずして止むことが出來ぬ。新しい男や新しい女を攻擊する前に、世人は舊い男と舊い女を攻擊せねばならぬ。舊い男のことは既に述べた、之れから舊い女に就て一言せねばならぬ。

さて舊い女の中には、多年同棲して居ながら、夫の飮食の上に於ける趣味嗜好さへ呑み込めぬものが尠なくない、怠惰も亦た甚しいではないか。若し夫れ夫の精神を知り、夫の精神上の缺點までも知つて、發明家エヂソン夫人の如く爲しつゝある婦人を求めたならば、我が舊式婦人の中にソンナ婦人は殆んど一人もなからう。

エヂソン夫人は、夫エヂソンが一つの問題を捉へて考へ込むと、全く寢食を忘るゝと云ふ風なのを、早くも見て取つて、色々と工夫し、或時は强いて夫に

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説を讀ませたり、或時は音樂を聞かせたり、又或時は庭園に伴うたりして、夫の精神と肉體に慰安と休養とを與ふることに努められた。

夫の氣に入らなくても、強いて踏み止まり、罷かり違へば自殺をすると云ふ婦人はあつても、チスレリー夫人の樣に、長き夫婦生活の間、一瞬時と雖へども夫に不快な顏を見せなんだと云ふ婦人は、日本に尠ない。夫の家を死所とせよと云ふ樣な敎育をして罷かり違へば自殺すると云ふ樣な婦人を養成して、離婚の數を減ずるよりは、よしや離婚の數は增ゑても、世に心から笑ふ夫婦のみを見る樣にしたい。之れからの道德は死の道德でなくて、生の道德でなくてはならぬ。殊に夫婦の道德は生の道德でなくてはならぬ。

聊かでも日本の女子敎育に尙ほ武士道の片影が遺つて居て

內に誠意さへあらば、巧言令色といふが如きは決して賞すべきことではない。

と云ふ樣な心持の婦人を拵へると、今後はソレがドンナに其の婦人を不幸ならしめるか知れない。今後の婦人は內に誠意あると共に、外に又愛嬌があり、無邪氣であり、極めて自然であらねばならぬ。

（四）要するに

私は、日本將來の家庭は、新しき男女によつて其の內容を豐富にさるゝのであるから、舊式な男女を排斥して一日も早く新しき男女を多からしめねばならぬと信ずるのである。

小泉八雲の抱車夫試驗問題

晩年抱車夫を選ぶときの條件は只一つであつた。「あなた、おかみさん。可愛がりますか」「はい」「それならよろしい」、かよわき婦人小供を愛する程のものに惡人はない、これヘルンの信仰であつた。(早稻田大學出版小泉八雲より)

序手に、同書の中より、ヰカ一節を紹介しやう。

夫人が裁縫や掃除をすることあればあなた女中ではありませんそんな事は女中にさせなさい、そんな暇があれば本を讀んで話を聞かせて下さい。氏の著書の多くは夫人から聞いた話をかいたものだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Mさんの夫

日向きむ

私はMさんの夫についてはいろ〳〵な事を考へる、Mさんは意志は強いがからだは極弱くて幾度も死かゝつた女、青葉の蔭に立つた女神の像のやうな透徹つた白い人である、夫といふのは才子肌で外國相手の商賣をしてゐる、Mさんと結婚した頃は洋行歸りの新らしい人であつた、が其後從軍したり商賣のいそがしさに追はれたりして古くなりかけた、Mさんは其間に病院生活ばかり續けて靜かにも考へ讀書もして日々新なりといふ風なので內生活が別々になつた理解がなくなつた趣味が合なくなつた、苦は共鳴しても樂の方面が共鳴しなくなつた、而して二人とも煩悶する、Mさんも氣の毒だけれど其夫は亦可愛さうだ、Mさんを保護する爲に働きつゞけて修養する時がなかつたので、自然はなれたのだから可愛さうだ、いつか西洋の雜誌に丁度それとはさかさまな事があつた、ある女が子供や家に囚はれて、夫と話があはなくなつたのを、夫は調子を合せやうともしないと、恨んでかいたものを見たがむづかしい問題である、それは勿論、その夫にも責任がある、又こつちの話のMさんにも責任がある、けれども夫に其女がある待遇を强ゆる口實にはならないのと同じやうにMさんの夫がMさんに對して無理をいふ權利にはならない、矢張自分が自分を養ひ自分を修めてゆかなかつたのは手落ちなので一方からいへば愛する夫、愛する妻に對する責任の一部を果さなかつたといふ罪にさへなる、物質、精神どちらにせよ一方に不足空虛など感じさせるのは他の一方が責任を負はなければならない、物質を供給するために働いたと云つてもあるひはそのうける方では、精神を望んでゐたかも知れない、Mさんの夫が第一義としてゐる、物質の保護ばかりが保護であらうか、Mさんの夫は忙がしい爲で

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はあらうが若い盛りのMさんを晝も夜も寂しくたつたひとり置く、それでMさんの外出や交友に就ては何のかのと干渉し氣の毒な程心配か煩悶かわからない事をしてゐる、私はMさんからそれを聞く毎に思ふ、何故Mさんを絶對に信じられないのか、長い間ヨーロッパにゐた人が男女交際といふ事に就いて如何してそんなせまい事を考へるのだらうと、Mさんの心にある、夫に對するもえるやうな愛の火に水かけては冷すやうな事を何んでするのだらう。

男と女は平調子と上調子の音樂のやうなもの、思想や趣味はその樂譜である、意識的に一曲を合奏しては向上の一路にすゝむ。世の中の歌は軟弱な戀の歌ばかりでは決してない、百千萬の曲がある複雜な音色を出して聖淨にも豐富にも平和にもして人生を生かしてゆく事をMさんの夫は何で自分の損害のやうに思はなければならないだらう、Mさんの持つてゐるあの複雜な微妙な音色を一つ殘さず自分の琴と共鳴させて餘地ないものにしたいなら何故その爲めに努力しないだらうなせする事を樂しまないだらう、自分自身は地の曲ばかり奏でてゐて、天の曲、雲の曲、花の曲、雪の曲、月の曲、水の曲、火の曲、風の曲、すべて微妙な深刻な人生の一大悲喜曲を、かすかにも奏でる事をMさんにゆるさないで、生きてはいけない、天與の絃を鳴らしてはいけないと、苦しくも抑へて置く、それがMさんを愛する爲の愛といへようか。

『つひに私はひとりで死んで行くのだわ、一緒にゐても別々で』といふMさんも寂しからうけれど私はMさんの夫の事を思ふと何とも云はれぬ悲哀を感じる。

海にのぞみて

はる〲と沖の方より千よろづの友呼びつれて、つぎ〲に近寄り來れば、先なるがたてがみ亂し、高なきつ、高勇みして立つと見れば、渚に消ゆる涙の白駒。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外婦人文藝消息

中尾清太郎

未來派のエフ、チー、マリネッチ君がブルームスベリイの『レ、ベル、アート、セントラル』で未來派の詩を詠んで、未來主義の説明演説をしたとき、集つた聽衆は皆未來派の服裝をしてゐた。女から言へば、彼等は髮を子供のやうな角形に截つて、裸足に銀の紐の附いた靴を穿いて、踝のまはりに蛇の飾を捲いたものもあつた。男はパリの美術職の穿くやうな踝の所のたぶついた淡紫の袴を穿いて、綠色の襟を着けて、黑檀の杖を持つてゐた。

* * * * *

五月二日は合衆國の『選擧權日』として國民的祝日となりさうだ。大統領ウヰルソンは、此日を大祝日と定めるやうに、米國女權協會から建白されてゐる。そして米國の十七州は既に男女同選擧權を有することを認め、其中十州までは新法を實施してゐる。

* * * * *

南佛の大詩人ミストラルは、妻の死を機會に、マレーヌの郷里に自分の家と土地と總ての動産とを寄せた彼は自分の僕を其家の番人にしたい希望をもつてゐる多分彼の死後に於て、記念物とされることであらう。

* * * * *

有名なプリマドンナであつたマダム、ノルチカが五月十日東印度のバタギアで死んだ。それは其前彼女が汽船タスマンに乘つて、パプア灣を航つたとき、肺炎に冒されたのが原因となつたのだ。彼女は一八五九年アメリカのメーン州ファーミングトンに生れて、初めリリアン、ノルトンと呼んでゐたが、二十歳の時オペラの初舞臺に登つて、ノルチカなんて當時流行のイタイア名にしたものだ。

* * * * *

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文豪チエスタートンの『事務的良心』のやうに働いてゐる彼の妻は、彼が俗事に無頓着なる丈、それ丈細かな必要事に注意を拂はせられることが多い。例へば旅行と云ふ旅行には、彼女はいつも彼について往つて彼の氣の附かない世話を見てやつてゐる。或る時も、チエスタートンは講演をする約束日だつたので、出ようとしたところが、折節來客が押し掛けてゐたので、夫人に應對を任して、自分一人でステーションへ驅け着けて、いきなり十圓金貨を投げつけて、『切符を呉れとどなつた。出札人は『何處まで』と尋ねた。『自由貿易館』と答へた。『それでは、グラスゴーですね』と云つて切符を賣つて呉れた。チエスタートンはグラスゴーへ往つて、街に立つてゐると、見知りの人が『何うして此處へ?』と云ふので、彼は『自由貿易館へ講演に來たのだが……。』『おお、そりや不可!』『だつて?僕は二月許り前に講演の約束をしておいたんだが……』。『自由貿易館なら、もう變はつてまさあ。今は畫家が入つてゐると云ふことですよ。』チエスタートンは、こりや、しくじつたと思つて、すぐ電報を打つて夫人に聞き合はした。'Am here. Where ought I to be?'（此處へ來てゐるが、己は何處へ往つたらいいんだね?）

* * * * *

『星の秘密』と云ふ本が、エヴ、マルチン女史の著で、印度ベナレス市アドヤーのセオソフイカル出版局から出てゐる。挿繪はゲルトルード、ブラッドレー孃の筆で。非常に面白いセオソフイカル・ストーリイを、それが更に彩飾してゐると云ふ。

* * * * *

メルバ夫人の自筆本が出た。其中には四人の目立つた手紙の送り手がゐる。第一はヘンリイ・アーヰング。第二はアムブロース・トーマス。第三はコクエリン。第四はジーン・デ・レスケ。みんな優しい甘い崇拜の言葉が奉つてある。

* * * * *

ステップネイの監督夫人リユーク・ペーゼットは、英

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

國新教會の機關として一錢輸入週報を五月一日から出すと云ふので、サー・フイリップ・ベーカー・キルブラハムだの、エチ・ジエー・トル君などを後援者に得た。

* * *

『フライス雜誌』發行所から、遠からず『スポーツウーマン』と云ふ婦人雜誌を出す。程度はフライと同じで、シー・ビー・フライ君が顧問記者と云ふ譯だ。

* * *

ヘンリイ・ウツド夫人の百年記念が、ウースターで執行はれた。ウースターは彼女の著書に毎度姿をあらはした町だ。

* * *

チャーレス・ハーリス夫人の小說『アイデル博士の妻』は、ロンドンのジョージ・アレン社から出る。夫人はコールソン・カーナハン君の妹で、此間までメリイ・カーナハン孃と言つてゐたのだ。今までは雜誌の寄稿や、"Nothing but Nonsense"と云ふ面白い歌の小本ぐらゐで知れてゐたので、小說を書いたのは今度のが初めてだ。

* * *

スコット・マクスエル夫人の『閃點』は三幕物で、ジーンと云ふ娘が其祖母や母や小母やと衝突するさまを描いた面白い然も眞面目な研究の發表である。ジーンは今日の若い女が急に目醒めた時には到底避け難い彼女自身の近代思想に對する驚異を示したものであるそして彼女の身寄の者は、實際より以上に不條理に彼女に見えるのである。其處に葛藤が生じ、又解決が着きもするのである。此芝居は素人の演るやうに出來てゐる。（シドキツグ・ジヤクソン社版）

* * *

アイ・エー・アール・キリイ孃は、近來めつきり頭を擧げて來てゐる。『獨逸に於ける八年間』も近いうちに出る。亦『曉の寺』と云ふ小說も書いた。共に同時に讀者の手に入るであらう。（ミルス・ブーン社版）

* * *

ローザ・ニユウマーチ夫人の『ロシヤの歌劇』がハー

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

バート・ジエンキン社から出る。著者は音樂のロシヤと云ふものと極親密な關係にゐて、オーソリチイとなる此書を著はした。ロシヤの歌劇と云ふものは、一般歌劇の發達を研究するとは違つて、能く其國民の生活と道德と傳說とに通じなければならない。著者は此點に於て其資格のある人だ。

* * *

"The woman alone" と云ふ小說が、ホルデン・ハーチンガム社から五月末に出た。女醫者を描いた珍しいものだ。女主人公は、東ロンドンで醫術を開業してゐるものにしてある。著者のハーリソン孃はロンドンの或る新聞に携はつてゐる人で、其位地上近代婦人運動を諸種の方面から觀察するに便利と慧敏とを持つ所から、此小說は屹度一問題を醸すであらうと期待されてゐた。

* * *

バーナード・ショウの夫人はアメリカへ往つてゐたのに、フランスでは『ピグマリオン』に出るキャンベル夫人を捉へて、『有名の女優ショウ夫人』などと書いてゐる新聞があつた。それはショウ夫人がブリユの劇を著者認許の下に英譯したことがあつたからだ。

* * *

パリの『ル・ジョーナル』では、婦人の選擧權に關して贊否を投票さしてみた。勿論婦人のみが投票したのだ。贊成が五十萬五千九百七十二、反對が十一萬四千であつた。

* * *

アメリカを大成功で打ち上げて本國へ歸つたダブリン府のアベイ劇場の愛蘭劇役者達は、六月一日ロンドンのスローン廣場にある王立、宮廷劇場で例年の通り幕を明ける。出し物としては、定評ある物の外に、新作が二つ加はる。一つはレデイ、グレゴリイの喜劇一幕物『鷦鴒』、其二はジエー・バーナード・マッカーシイの三幕物 "Supplanter"

正誤　前號ロンドン中產者生活の支出計算書中シリンケは皆ホンドのまちがひ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外婦人運動消息

柳子

女巡査

昨年倫敦に開かれた第五回目の賣淫取締に關する萬國會議に於て、女巡査を採用せる獨乙、北威、瑞典、加奈太、米國等の委員は、大に女巡査の効能を説いて其の必要を決議せしむるに至つたが、此の程又、英國の刑法改正委員は『女巡査の必要』と云ふ小冊子を拵へて配布した。此の小冊子には

●●第一に、深夜大都會の或種の町では怪しい女が徘徊して男子を誘惑するが、之れを防ぐ爲めに女巡査が必要である。

●●第二に、婦人が男子に侮辱を加へられた場合に、其の婦人が之れを男巡査に訴へることは非常な苦痛である。此の場合に女巡査があらば、如何に好都合であらうか。

●●第三に、猥褻罪などの場合に、婦人が男巡査の前に其の詳細を供述することは、非常に苦痛である。

●●第四に、娛樂の場所を女巡査が巡回して、青年男女の宜しからざる行爲を監督する必要がある。

●●第五に、公園、空地、運動場、停車場等を女巡査が巡回して、小供や婦人が惡漢に苦しめらるゝのを防いだり、地方から逃走して來て、宿する所だになく、迷へる婦人の保護者となつたりする必要がある女工の多く働ける工場の周圍を巡回する必要がある。又絶えず男巡査をして、賣淫其他婦人に關する犯罪に關係せしむることは、其の巡査を墮落せしむる大なる危險がある。

と五ヶ條に區別して女巡査の必要を説いてある。此の外に尙ほ私は、女巡査の必要な理由として

●●第六に、密賣淫などせる家へ警官が踏み込む場合に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女巡査が先づ這入つて、男巡査が次に這入る必要がある。

●●第七に、酒を飲む場所なぞを、女巡査が徘徊して男子では出來ぬ幾多の方法で、青年男女を救ふことが出來る。

●●第八に、男では探偵し難いことで、女には容易く探偵の出來ることがある。

●●第九に、路傍で賣淫して居るものを見付けた樣な場合に、大抵女丈け拘引さるゝが、之れは不都合である、男も一緒に拘引して取調べる必要がある、此の場合に男も拘引するには女巡査の助力が必要である

●●第十に、警察の拘留場に留め置かるゝ婦人の爲めに女巡査が必要である。

なぞの理由を附加したい。斯かる理由あるが故に英國も早晩、婦人を巡査に採用するに至るに相違ない。

（キーブル夫人）

△土耳古　にもホリデー・エディベエ・ハノアムと云ふ偉い婦人が現はれて、婦人解放の運動を始めて居るとのことである。

△ローウエ孃と云ふ一支那婦人が、近く米國加州大學の法科を卒業するソウである。

△獨乙の諸大學　に學生たる婦人の總數は千百〇八人で、中四百人は外國婦人であるが、露西亞婦人が最も多く、米國婦人の數、之れに次ぐとのことである。

△伊太利　のクリエントと云ふ紳士は、同國の婦人選擧權運動の資金に二萬圓を寄附し、同國で始めて代議士となつた婦人に八千圓を贈ると云ふ遺言して死んだ

△露西亞　にも婦人選擧權の要求に同情するものが、次第に增ゑつゝある。此の程も『婦人の日』と云ふものを定めて、其の日、聖得彼堡の數ヶ所で同時に演說會を開くものがあつたが、其の爲め三十名の婦人が警察へ拘引さるゝに至つた。

△英國　の婦人選擧運動者は、來るべき總選擧には勞働黨の候補者に同情し、其の運動費をも助ける筈だとのことである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

羽ばたき

三野村きよ

午後七時發の急行車が三島あたりを通る時、幹子は今迄眼も離さず讀み續けて居た雜誌を投げ出した。
『何んの興味を持つて恁んなに夢中になつて讀んで了つたらう、矢張此脚本からTさんの氣持を見附け出そうとしたんだ』
然う言つて微笑した。四邊を見廻すと、旅客は孰れも眠つて了つたのか、凡ての寢臺に茶色のカーテンが締つて居た。
幹子は冬から春にかけて絶えず犯される或一種の痙攣から逃れられる許でも此頃の暑さを待ち望んで居た、日毎に光澤を增してゆく肉體の健かさを見る度に幹子の尖つた神經は柔いだ、然して强烈な眞晝の日光に照り付けられるのを快よく思ふ事が度々あつた、殊にぢり〳〵と浸み出る汗が薄桃色に燒けた肌を流れる時、薄い刄物で微かな疵を受ける樣に、輕いけれど辛辣な痛みを味覺するのを好ましく思つた。然して小さな麥藁帽を被つて花壇のダリアを見廻つたり、近頃延びて來た畑ものを見たりして草いきれの强い畑や土手の上を步き廻つた。
然し幹子の自然に對する慾望は此小さな城廓に充分の滿足は得られなかつた、旅に出たいと言ふ希望が幹子を凝とさせて置かなかつた、然して九州に出張して居る良人の旅行日程を繰つてみた。
『あしたなら大阪！』幹子は女中を呼んで子供の事留留宅の事を言ひ付けると直に家を飛び出して了つた。
幹子が家を離れやうとした時、男の子はおみやげの約束をした、その元氣な兄に引かへて妹は平常あまり泣いた事もないのにめそ〳〵やり始めた、幹子はその事を思ひ浮べて眉をよせた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『あゝ厭だ。あの子は私を慕ふのかしら。私が最初から非常に注意したのにも係はらず、母子といふ觀念か不知〻の間にあの子の胸に刻み付けられて行くものらしい、それが何時か離れ難ない絆と成つて、あの子の心に頼らうとする弱いものが芽含でゆくのだ。私は今迄取立てゝあの子を可愛いゝと想ふ事はなかつた、唯他の子供達よりも或場合弱く見える時にのみあの子の事を多く想つた、私はあの子が慕ふ情が強ければ強い程、あの子の眼が開けて來た時に、きつと大きな失望をする事があるだらうと思つて居る。世の多くの親達が自分勝手に子供を愛し過ぎて置乍ら、其愛に酬ゆる爲に自分達の意志に任せて子供を犧牲にして省みない、猶それ許でなく種々の義務を負はせやうとする、何といふ淺ましい愛しかたゞらう。』

幹子は或秋の夕暮の事を想ひ出した。

濃藍色した秩父山脈がたそがれた空に夢のやうに浮んで見えるのを、肌寒い風に吹かれ乍ら眤と見入つた。私は一人で生れて來たんだ、死ぬんだつて一人だわ、私は眞實の一人ぼつち、お祖母さんや母さんの可愛がつて呉れるのは何の事もないんだ、私は最う誰にも眞實の事は話せなくなつて了つた。』きのふ迄家庭の寵兒と矜つて居た自分を、貧しい憐れな女であると知つた時、寂しい孤獨の悲さに堪へず長い袂で顔を掩うて泣いた。

幹子は現在も猶當時の氣分を忘れる事が出來ない、然して水色のリボンで前髪を結び、紺絞りに赤い巾の狹い帶を〆めて居た自分の姿を懐かしく思つた。

『先程仰いました電報用紙を』とボーイが持つて來た、幹子は『アスアサ八ジツク』と書いて渡した、然して良人の驚く顔を想像した。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『全くの一人丈で行く先きも分らない旅に出てみたい、冷氣が肌に透るやうな高い山に登つてみたい、旅の寂しさを充分味はうてみたい』

斯う呟いて寢臺のカーテンを〆めた。

汽車は箱根の山を通るらしく、隧道に入る度毎に何處からともなく鼠色の厭な臭のする煙が舞ひ込んで、抵抗力の無いものを飜弄するやうに幹子の汗ばんだ肌を汚してゆく。轟々と絕えず闇を走る車輪の響が、晝の暑さに疲れて居る體を責むやうに思はれて、神經許愈々高ぶつて取り留めもなく色々の事に想ひ耽つた。

此汽車のゆく遠い果迄行つてみたらば恁んなかしら、私が疲れ切つた體を漸々起して停車場を出たなら夕風がもの哀れに吹くだらう、私は西も東も分らない土地でどの宿に落付こうかと思ひ迷ふ時、私は一番先きに誰を戀しく思ふだらう。』

幹子は高等學校に入學した年に自殺して了つた、幼馴染のMの事を懷かしく思ひ出した。その凝と見詰る眼元に憂欝の影が潜んで居た、幹子はその友を斯うも懷かしむのは、友が自分の美しい處女の姿を知つて居る丈で死んで了つたからだと思つてみた。

『眠りましたか？』

『いゝえ、まだ』

思ひがけなく隣の寢臺の上と下とで話聲がする。

『あんた夜分は何處を見ました？』

『帝劇と有樂座とそれから寄席も見ました』

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『短かい間によう見ましたな』

『たんと見んと話にならんさかい』

『東京へゆく時同じ汽車にます六が乘つてましたな』

『ほう……………』

『あの女もおもしろい女ぢやてアハヽヽ、また眉を落して居ましたわ』

『連れがありましたか？』

『男は此前の東京ものらしいて、彼女は稼いでは貢ぎ〳〵して、裸になるとまた褄とりますのや』

『大阪で稼いで東京へ捨てにゆく――か、えらいこつちや』

『それがお可笑いて、裸にされてもちやつとも後悔せんのや、おもしろい女ぢやな』

それから二人は大阪の花柳の事で話が奮んだ。

幹子はその女の姿を想つてみた。切れの長い潤みのある眼、青い眉、勝氣らしい口許、のび〳〵した四肢の艶な曲線、淺黄のてから、翡翠の簪。

幾度か短かい夢が破られては結び、結ばれては覺てゆくうちに米原を過ぎた。曉の新鮮な空氣が細い網戸を潛つて來て、殊更に黒ずんだ眉や生際のあたりに浸み入るやうな涼味を與へた。幹子は眠りの足らない重い頭を押へ乍ら茫然と窓の外を見た、靄の晴れてゆく湖水に浮ぶ小舟や蘆の間を飛ぶ水鳥の白い羽根などが、まだ覺め切らぬ夢の中に見る繪のやうに美しかつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

列車は梅田驛のプラットホームに着いた。

幹子は忙がし想に先きを爭ふ大阪人の後から小さなカバンを赤帽に渡して車を降りた。大勢の人達の中から鼠色の背廣にパナマ帽を被つた良人の姿を見出して驅けて行つた。快活な笑を含んだ幹子の姿を見ると、出迎へた良人の顔は急に不機嫌となつた。二人は默つた儘停車場を出ると、車夫を返して附近の料理店に入つた。

幹子は旅に疲勞れたなよ〳〵した姿の妻を待つて居た夫の氣持と、其期待の失望に終つた不快を夫の險しい眉の間から讀んで、殘酷な遊戯を好む暴虐なネロの姿を聯想した。

『何の用事で來た』

『別に用は無いけれど』

『迎ひに來たのか』

『いゝえ、旅がしたくなつたから』

『何故己れに斷つてから來ない』

『そんなに難かしく考へなくたつていゝでせう』

『いゝや、それがいかん、お前は何時迄も子供ぽくつていけない。家庭といふものにもつと責任を持つて貰はなくつては』

『でも子供達は乳母やが居るし、四五日と思つた旅に連れて來ちや、却つて可愛想ですもの』

『理屈で通ると思ふのか。己れは此二日許碌々眠らずにやつて來た、何しろ九州は暑いしな、己れ許眞黑になりて働らいて細君は旅がしたいなんて呑氣なんだからな』

『それはあなたの御苦勞は知つて居ます、けど私もう箱根の山を二年も越さないんだから』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『そらそれが惡い。むかし御祖母さんに連れられて海水浴に出かけた子供の時と同じ考へなんだから』

『…………』

『お前は矢鱈に本は讀みたがるし、旅行はしたがるし、一體細君と云ふものは恁ういふ義務があるか、女の天職は何であるか考へてみい、他家の奧さん達を御覽、女中と一處になつて働くし、子供を恁んなに可愛がるか知れやしない、また良人に對しても飽迄も服從して居る、ぽか〳〵飛び出して來る奴が何處にある。お前のやうな女は兎角亭主が好きな眞似するから私もしてやるといふ了見に違ひない、然ういふ女が世間から爪彈きされる、新らしい女にかぶれたと言はれるんだ、たとへ良人が道樂したとしても、それは世間から公然許されて居る事だ、現在の社會は茶屋酒の味を知らずに通るやうな馬鹿な奴は誰も相手にしやしない、然して恁んな重大な問題でも酒と女のうちに解決が出來るんだ、御孃さんあがりがそれを御存じなく……』

『いゝえ、よく存じて居ります、此頃の紳士といふ人達の態度はよく分つて居ります』

『生意氣いふな、女の癖に………。お前のやうな何んにも分らん奴には子供など任されやせん、世間によくある不良少年、少女はお前のやうな母親から生れるのだ』

『…………』

『己れが苦心して築きあげた世間の名譽も信用も、お前を妻にした事で零になるんだ、お前は誰のおかげで樂な日を送つて居られると思ふ？然しお前は世間知らずのお孃さんだ、小さい時から苦勞して來た己れに間違ひはない、己れの言ふ事さへ聞いてゆけば立派な奧樣だ、お前の友達と言へばみんな跳つかへり許だ、良人よりもえらい人間だと思ふやうな不心得者許だ、此後からは己れの敬服して居る奧さん達と附合ふがいゝ、あの人達は學問こそないが得難い經驗を持つて居る、えらい人達許だ、妾の子も自分の子も分け隔てなく圓滿に育てゝ居る、お

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

前は如何だ、僅か二人の子供の世話も碌にしないぢやないか、然して己れが汗と油を流して得た金をぱつ〳〵と使ふ、現在も赤帽に三十錢やつたらう、第一然いふ小さい事から注意して貰ひたい』

『…………………』

『そう言へば直に茶屋に拂ふ金を思ふだらう、見えない處こそ遣ふ必要はないが、己れの名譽や信用に係はる肝心な場處へは大に撒かなければならない、それからお前の着物はなんだ、一人旅する時はもつと地味な着物を着けなければいけない、まるで子供なぞない人のやうだ、それに男許多い汽車中に、殊に寢臺車などで來るといふ事が第一間違つて居る、それから汽車の着く時何故ハンケチでも振らなかつた！』

『あなたは御自身の氣持から割出して私を御覽になるんですね、それぢやあなたは余程御自分の妻といふものを買ひさげていらつしやる』

『馬鹿な事を言へ、己れの細君ほどいゝものは無いと思つて居る、己れ程細君を可愛がつて居る者は無い、だから人から笑はれ度ない、此上にも讃られ度と思つて居るから敎へてやるのだ、叱ると思ふと違ふぞ』

『ぢや斯う言へばよかつたんでせう、私はあなたに逢ひ度なつて堪らないから來たんですつて』

『そうだ。それが當り前の事だ、それを旅がしたい抔と生意氣をいふから間違ふのだ、――然し幹子――それがお前の本音だらう……………？』

『…………………』

『つまらない事に威張つて見せるのがお前の癖だ、お前はやつぱり女だなあアハ……………』

『……………あなたの仰る事はよく分りました、私は今日直に歸ります』

『そら〳〵それがお前の子供つぽい處だよ、己れの言ふ事が分つたら何も歸る必要はない、――なあ幹子、ゆふ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

べお前から電報が來た、己れはそれから色々計畫してみたんだ、有馬へ行こうか、寶塚へ行こうかとね、然し今度新らしく出來た六甲山のラヂユームの溫泉もあるしね、其處がよからうと思つて電話をかけて置いた、お前と二人で使ふ金なら惜しい事はない、お前は己れを離れて何でもやらう抔と思ふのが惡い、淚をためてるね？馬鹿な奴だ、よく分ればそれでおしまひさ、東京へは己れから手紙出して置く、歸途は桃山でも參拜するとせうか」

幹子は僅か前迄幼な心になつて味はつて居た柔らかな旅の喜びを、嵐の跡のやうに踏み躙られて了つた事を取返しのつかない事のやうに思つた、然うして自分の人生の旅の上にも思ひ及んだ。

二人の間に無言の時が過ぎた。

やがて何事も無かつた樣にけろりと元氣になつた良人の顏を見あげた幹子は、虐げられた奴隷が持つやうな憤怒と屈辱とに充された氣分をさらりと投げて、寂し味と侮蔑と憐愍とが混つた皮肉の笑をその唇に見せた。（終）

婦人問題早わかり

高野重三先生著

著者の自序の中に「私が本問題を研究し始めしに就いては故勳三等デー、シー、グリーン博士、横濱フレザー商會主たりし故リン、ヅリー氏の未亡人で最も熱心なる婦人論者たるリン、ヅリー夫人、及び日本女子大學敎頭にして本問題研究者としては我國に於ける先覺者の一人たる麻生正蔵氏等が深切にも私の爲に特に參考書類の目錄を調製し、又尾崎行雄氏の夫人英子女史が時々種々の著書、單行本等を寄與して私の研究を助け吳れられ、殊に東京帝國大學理科大學の敎授にして友人たる五島淸太郎博士が其の專門たる生物學、動物學に關する廣く、深く、且つ最も新らしき知識を惜げなく傾注して私の本問題に關する根本的研究を助けられし事等は深き感謝の念を以て永く忘るゝ能はざる所である」との一節がある。著者は斯くの如きの用意を以て眞面目に根本的に婦人問題を研究し、其最新の學理に基きての論斷を平易に何人にも分る樣に書いたのが本書である。目次、定價其他は前號及び本號の廣告にある通りである。記者は一讀を諸君に御すゝめする。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ツ當り

（本欄の言說に付ては本社其責に任せず）

八方醜婦

婦人の雑誌類の中に「新婦人」と云ふがあり、「新眞婦人」と其名稍相似て居ますから、嘸かし私共婦人の自由とか、向上進歩とかの爲めに名論卓說でも出て居るものと思つて、七月號を通讀して見ましたが、其内に法學士高橋天籟とか申す方の「理想の妻」と云ふ一文がありました。自分の缺點や不足は棚に上げて、萬事自己の利益と快樂を中心として勝手な理想を畫ひて居られますが、誠にツマラヌものであります。全體帝國大學と云ふ所は、官吏養成所とか申して、其卒業生は多くは官僚的とかの人間になりたがつて計り居ると聞いてゐましたが、人格だとか、人道だとか云ふ事などは一向教へもせず、注意もしない所と見えまして、婦人の問題などになつては其理想や所說は驚く可き程低く且つ古く、到底お話にならぬ感が致しますことが度々あります。成程在學中許嫁の娘の生家から學資を貢いで貰つて卒業もし又洋行もして、後は何彼と取るに足らざる理窟を付けて沒義道にも其約束を破り、其娘を捨てゝ富豪權門と婚を結びて平氣で居り、或は持參金附の娘を妻に貰らつて其成功を得々として其イクジナシである事を表白しつゝある事を覺らざるが如きものもある事は珍らしき事ではないと聞いて居る位ですから、ソンナ卑しむ可き空氣に滿ちたる學校から婦人に對する理想の高尚なる人間の出づるを望むは野暮の骨頂かも知れませぬが、せめて法學士の肩書に對してもモツト理想も高かる可く思ひましたが、誠に案外なものです。「既に婚姻の目的は生殖にあり」と眞面目腐つて云つて居らるゝ位だから、其他は押して知る可しです。「而して完全なる生殖作用は快美の感と伴うて始めて行はる可きものなり。是の故に妻の肌膚は肥え滑かならざる可からず。燃ゆるが如き血潮あらざる可らず」と臆面もなく自然主義を發揮して居られますが、平素紳經過敏の警視廳がよくもこんな卑猥の文字を看過して發賣禁止をせぬ事であります。同氏は小林某女を評して「禽獸と相距らざる一個の肉塊たり」と嘲つて居られますが、それは恐らく。。。法學士御自身の事を云つて居られるのではありますまいか。

〇

更に甚しきは柴田俊二郎とか申す方の「怖ろ可き婦人の敵」と云ふ題で私共婦人は「矢張男に倚つかゝつて、男の心持にのみ生きて行く方が、無智ではあるが幸福な方法である。…………即ち男子に倚りかゝつて人格なしに生活して貰ひたい。更に露骨に云へば、男子の自由自在になつて玩具になつて貰いたいのである」と云つて居られます。實に私共婦人を侮辱するも甚しいではありませぬか。私は前々號の「八ツ當り」で現今婦人論に對する世間有觸れたる誤解の内に、婦人論は婦人をして男子に

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

反抗せしむるものであると云ふは間違で、立派な教育と高尚なる人格を以つて男子の伴侶となつて圓滿なる家庭を造り、又社會に立つて人類のために竭したいのであると、辯解して置きましたが、前述の高橋法學士と云ひ、又此柴田氏と云ひ、私共婦人を以つて單に男子の情慾を遂げ快樂を増す一種の奴隷の如きものに考へ、之れを麗々しく世間に發表して憚かられない以上は、かゝる男子方に向つては先の辯解を撤回して向後は明らかに反旗を飜へして挑戰を試みる事を此處に斷言して憚らぬのであります。

○

七月一日號の「婦人評論」に久ぶりで黒岩周六氏の「英國の選擧婦人に同情す」との御演説の筆記の一部を掲載してありました、殘りは次號に出るそうであります。一日號丈の分では私共も全然贊成で、既に前號の本欄で、六合雜誌に出て居ました田中久子女史の同じ題目を批評しました時にも云つて置きました通り、參政權論者中の急進派が其目的を達せんが爲に常規を逸したる行動を採り居るに就ては、一概に其亂暴を嘲笑せずして其此處に到りし事情を篤と調べ其心事の眞相を察して徐ろに其判斷をなすの必要があると思ひます。是等の勞を採らずして一概に之れを惡罵せんとせらるゝ方々は、未だかゝる問題を彼是論ぜらるゝ資格のない人だと思ひます。兎に角私共は黒岩氏が茲に依り益々私共婦人の爲に竭されん事を切望します。

本月號の「開拓者」にも又々婦人論が出てゐるからと注意されて、見ましたら、成程「家庭勤勞の尊嚴」と云ふ題で大塚小一郎とか申す方の論文が出てゐました。其趣旨は前號の木下東作氏の「生理學上より見たる男女兩性」と大同小異でありますが、木下氏の如き獨斷的のものと異り、至極眞面目な、深く考慮した、實のあるものであります。聞く所によりますと大塚氏は前陳の高橋氏と同じく帝國大學出の法學士ではありますが、至極謹嚴なる眞面目なる、品行方正なる、篤學能文なる紳士で、永く日本銀行の本店に在勤して、今は北海道あたりの同銀行支店詰となつて居らるゝ方だそうです。本店御在勤中、人種改良論に興味を持ち、英國の或る有名なる同論の著書を邦語に譯して出版し、今も尚ほ北海道で日常閑靜なる生活の裡に、かゝる問題に關して其研究を續けて居らるゝそうです。道理で今度の一文も其基礎をかねて御研究の學理に置かれ、徹頭徹尾眞面目の態度を以つて其趣旨を主張し居らるゝ所は、其論旨には私は聊か同意出來がたく、其論理も餘り確固とは信ずる事は出來ませぬが、其態度には此頃婦人問題に關して不眞面目な論調の流行する際、特に愉快に感じます。之れを敵に譬ふれば、敵ながら感服の出來るものです。然しこう褒めて計り居ても仕樣がありませぬから、例により無遠慮の批評を少し試みませう。

第一、同氏は同氏の趣旨を明かにし、其論調を強めん爲に種々の譬を用ゐて居られますが、此譬と云ふものは便利なもの丈に直に反對論者から、之れを反擊の道具に逆用せらるゝ恐れがあります。譬へば同氏は新らしき婦人

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を道に迷へる旅人に比し「道を失へる旅人が狼狽しつゝも正路に出んとするは倘可なり。邪路魔逕に墮ちて自ら邪路魔逕にあるを知らざる者は眞に憫む可き極みである。新らしき婦人と云ふが中に此種の人のあるを見るは誠に堪ゆ可からざる悲劇である」と云つて居られます。が、新らしき婦人と稱せらるゝ者の中に間々そんなものもあるかも知れませぬが、私共から古き婦人を見ると何時も同樣の感が致します。又同氏は「全體を見ず僅かに其一端に據りて事物を判斷するは頗る危險なことである」と申されて居られますが、同氏御自身は其弊に踏入ては居られませぬか。更に又私共を群盲の大象を評する事に譬へて居られますが、之れは調度私共が私共を彼是漫りに批評せらるゝ方々に適用したい譬であります。殊に同氏は「人類といふ一接觸點のみを見て男女同一論をなすものは、人と蛇と比較し、共に生物なりといふ接觸點あるより立論して蛇と同一なりと斷じ、之れと同一生活を營む可きを主張するものと大差なき論である」と如何にも尤もらしく云つて居られますが、之れはとりもなほさず論理學の所謂一種のフハラシー、則ち錯誤せる議論であつて、人間と蛇と全然種類の異つたものを持つて來て、同一生活を營む可きや否やを論んずべきではなくて、同じ種類のものゝ中で人間ならば男女、他の生物ならば雌雄が、其異れる特徴あるにも關はらず、同一の生活を營む可きや否やを論ず可きであります。加之、蛇は雌雄によりて其生活を異にして居らぬから、人間も亦た男女によりて其生活を異にする必要がないとも論ずる事が出來るではありませぬか。かくなつて見ると折角の同氏の人間と蛇との譬は適〱以つて同氏の論據の薄弱なるを示すに止まるが如き奇觀を呈する事になるのです。

第二、同氏は愈々本論に入り男女兩性に差違あり、從うて其採る可き職務及び職業も相異す可きものであると云ふ事を、過去と現在とに別ち、且つ過去も人類以前と其以後とに區別して論じて居られます。則ち過去の人類以前の生物が其原始時代に於ても既に相異して居たりと、色々學者の所說を引用して證して居られますが、之れは前號で木下東作氏の論文を評せし時にも一寸申せし如く、學者各々其說を異にし、何れも多少の推測を加味して未だ明らかに一定したるものはないのであります。現に生物は其原始時代に於ては雌雄の別はなかつたもので、其增加は或は其體が分裂する事によりて起り、或は何等交接作用によらずして自然と子を生みしが故に、其生物には雌雄の性の區別はなかつたものであると云うて居る學者もあるさうで、或る有名なる社會學者の如きは若し生物が子を生む事によつて之れを雌と稱するならば、生物の原始は皆雌であり、子を生む人間の事を女と云ふならば、人類の原始は女である。幾萬幾十萬年の間に是等の生物なり、人間なりが、變形異種を得ん爲め、生物の雌には雄の發生が必要になり、人間の女には男が出來たのである。されば雄も男も雌なり女なりの生殖作用の必要上雌女の跡から出來たもので、雄男は單に雌女の生殖上の目的を果たす道具に過ぎないものである。故に若

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し強ひて雌雄又は男女の尊卑優劣を定めんとならば、無論雌女の方が雄男よりは尊く且つ優れりと云ふ様な奇論を唱へて居るのである。兎に角、かゝる原始時代の事に關しては未だ何れ共的確なる斷定を下し得る程今日の科學は進んで居ないのであります。故にかゝる不確實なる基礎の上に俄かに一定不變の説を確立する事は私共は成丈避ねばならぬ事と思ひます。

第三、同氏は人類以後男女の分業が確立して居つたとて數多の例を引いて居られますが、それ等によつて見ましても國により、種族により時代によつて、男女の採りし職務職業は變化し相異して居たのです。則ち分業は確かにあつたのですが、其種類は常に變化して居たのです。單純なる大古の時代にあつてさうである位ですから、現今の複雜したる時代に於て其千變萬化なるは當り前の事であります。之れを強ひて男だから之れをなしてはよいが、あれをしてはならぬ。又女だから彼れはしてよいが、之れはしてはならぬと限定するのは無理であります。況んや昔からかうであつたから、かうせねばならぬ、あゝしてはならぬなど云ふは琴柱に膠するよりも尚ほ愚なる話であります。

第四、殊に精神上に於ける兩性の差違に至つては、ロムブロゾー、エゲルトン、ヴヰルチョウ、エリス、メビウス、ヒツペル、バハホーフエル、レツキー、ハルトマン、ショツペンハワー、デユーボツク等は素より、キングスリー、ホルン、ロツチセ、ラフイツト、ニツチエー、マルホルム、ランベルト其他多數の專門家論客各々其説を異にし、甚しきは正反對のものも尠くないと聞いてゐます。斯かる異説紛々たる基礎の上に一定不變の議論を築かんとする事は思ひもよらぬ事であります。只雌雄男女の間に於て生殖に直接間接關係したる事に於て相異して居る事は皆認めて居る事です。從つて第一次及び第二次又は第三次的特性により、男女の相異を認むる事は萬人不同意ない所ではありますが、是等の特性が精神及び生活の狀態に及ぼす影響に至つては、個人特種の事情によつて異つて居ますから、とても一種の鑄型に入れて、同形のものを鑄出する様な單純な譯には行かぬものであります。且つ男女各々特性を有して居ます爲め、其儘にして各々其採る所を人爲的に確定して、相從かし相影響せしむる事をせなければ、男女の間を益々疎隔して互に理解も同情もなき事にしてしまいますから、寧ろ男女をして其好み適すると信ずる事に共同し、又は同じ職務或は職業を採らしむる事が本人等の幸福でもあり、又人類進歩の爲でもあると思ひます。

要之、男女は人類として共通せる利害及び性質を有して居ますから、其共通せる事柄又は性に關係ない事柄には男女共、其爲す事柄に人爲的に區別を付けず、又性に關係したる事柄に關しては相互の理解及び親密を増進する爲めに總ての職務及び職業を婦人にも男子同様、自由に開放採擇せしむる事が、最も道理にも適ひ、利益にもなり、且つ穩當な事だと私は確信して居るのであります。譬へば今日婦人のなす可き事と古來の風俗習慣で定まり居る事でも、若しそれが婦人の中の或る者には適せず、却て古來の風俗習慣で男子のする

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事と定まり居る事柄其者に適して居る事があるとすれば、其者に之れを自由になさしむるがよいではありませぬか。男子には是等の點に關しては絶對の自由を許して置きながら、何故に之れを婦人に許す事が出來ぬでせうか。婦人も男子同樣其最も好み最も適したりと信ずる事をなさしむる事が人物經濟の極意であります。現に直接間接に生殖に關したる事の外で男女の間に有してる性質の異れる程度よりも、同じ男子間に於ける各人の性質の異れる程度が甚大である事は屢々お互に見聞する所ではありませぬか、して見れば生殖に直接或は間接關係したる事又は時の外は、男女一切其取扱を同樣にする事が最も道理に合してる事であります。

果して前陳の議論にして誤なしとすれば、大塚氏の引用せられし歐州に於ける勞働條例が、女子の性に關したる特種の事項の爲め、差別的取扱をなす事は當然の事であつて、此事實によつて男女共人間として共有する他の權利及び取扱に差別を附す可き同氏の議論は立たぬのであります。

第五、同氏は更に英國の例を引いて、勞働市場に於ては男子の勞働の供給は其需用を超過して居る、尚ほ其上に「勞働場裡に婦人を立たしむることは社會全體から見て甚だ不都合と謂はねばならぬ」と云つて居られます。之れは婦人の勞働に反對する男子より常に聞く所でありますが、勞働問題は非常な複雜な問題で、中々一朝一夕に單純なる通り一遍の議論で、彼是直に論斷出來るものではありませぬ。只同氏に反問したいのは、早い話が、我國に於て大學始め其他の高等なる學校から、年々歲々數多の卒業生を輩出して居ますが、其過半は職業なきに苦んで居ます。さりとて右の諸學校を閉鎖してしまへと云ふ聲を餘り聞かぬはドー云ふものでせう。又男子でさへ職業にあり付くに困つて居るにも關はらず、高等女學校や女子職業學校を止めろと世人が要求せぬのはドー云ふ譯でせう。敢て遠き歐洲の例を引かなくとも、我國に於て現實男子の晩婚や獨身の風がハヤリ出して來たのは何故でせう。又之れに伴うて女子の晩婚や獨身生活は已むを得ざる事情に迫まつて居るではありませぬか。それに一家の經營上娘等も職業に從事して其生計を補助せしめざるを得ざる狀態に益々進みつゝあるではありませぬか。中流及び其以下に於ける獨身の婦人は如何にして生計を立つ可きでせうか。中流若しくは中流以下の家庭で夫婦共稼せずして如何に生活して行けるでせうか。我國の如き離婚の數多き國では離婚後はドーして其日を暮らす可きでせうか。不幸にして夫死し、澤山な子供と、何等資財なく、間々借金迄つけて殘されし妻は如何にして一家を支へる事が出來るでせうか。更に一轉して何等生計の苦痛なき上流社會の婦人にして、日常生活に關する器械と便宜は益々進歩して自ら毫も力を勞する必要なく、衣食住一切に關する事は人手にてなされ、毎日只男子の氣嫌氣褄を取つて其情慾を遂しむる外に何等用事なき身分のものに至りては、更に智的又は精神的の勞働に服する必要はないでせうか。婦人の力役又は智的

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或は精神的の勞働に反對する方々が、一度是等活社會の現實問題に想到せらるれば、婦人をして力役なり或は靈智の働なり其個人の最も欲し又最も其境遇に適すると信ずる勞働場裏に立たしむる事は、社會全體から見て啻に不都合ならざるのみならず、最も必要なる事であるを承認せらるゝであらうと思ひます。

現に同氏は同氏の論文の冐頭に於て支那數千載の歷史をして健羨せしむるのは、一孟子あるからであつて、其孟子ありしは機織を切斷して其子を訓戒したる孟母あつたからであると。論じて居られますが、同氏は其子を訓戒したる孟母ありしに氣付ながら、機織の勞働に服して一家の生計を助け、或は其夫の負擔を輕からしめし婦人に氣付かれざりしは如何のものでせう。其子を訓戒せし母が機織の勞働に服する事が差支ないならば、今日の婦人が經濟上其他の理由で、自ら最も適したりと信ずる勞働に服する事が何故に社會全體から見て不都合でありますか。

第六、大塚氏は男女の差異より論究して最後に至り、婦人の本領は家庭にありと論斷されて居られます。則ち同氏の信ぜらるゝ學理に基いて良妻賢母主義を主張して居らるゝのであります。之れに對して私の意見を申上ぐる前に、本論には直接關係ない事ではありますが、我國の婦人問題に興味を持ち、或は之を研究して居らるゝ方々に御參考迄に二つの面白き事實を申上たいと思ひます。

一つは、大塚氏の如く人種改良論に熱心なる方々は多くは婦人を子を生む道具、人類繼續の機關として見らるゝ傾がある事です。從うて婦人の天職本領は妻となつて子を生み、母となつて其子を哺育するにあると論斷するに至るのである。則ち肉の流れを後世に遺す事にのみ注意し、靈智の働を顧みるに遑なき弊があるのであります。故に妻母以外の職務又は其れを少しにても妨げるが如き形跡ある事に從事するに不同意を表するのであります。現に人種改良論の中興とも稱す可きガルトンの如き、一昨々年大部の婦人論を著はせしセリビーの如き、何れも皆婦人を人類の母として其說を述べて居るのであります。成程人は其專門に熱中し、其奉ずる所に忠實なる事は誠に結構なる事ではありますが、其爲め他にそれと同樣若しくばより以上大切なる事あるに氣付かざるは免れ難き弊であります。

今一ツは右の人種改良論者中、婦人の天職は母となる事であると唱ふるものも澤山あるのであります。之には一方の婦人論者が餘りに極端に馳せ、家庭を呪ひ獨身生活を高唱せし爲め其反動とも見る可き形跡も多少ありますが、其原因は何れにせよ、良妻賢母主義を高調する婦人論者も尠なくない事は事實であります。現にエレン、ケー女史だの、又昨年浩澣なる「婦人に關する眞なる事實」と稱する婦人論を著はして、廣く其名を知られしハーツリーと云ふ英國婦人の如き、皆其論者であります。そこで私の面白き事實と云ふのは、日本の良妻賢母主義と歐洲のそれとは大なる相異の點がある事です。と、云ふのは、日本の良

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妻賢母主義なるものは、多くは夫に從順に、よく夫の氣嫌氣褄を取り、又夫の命令によく從うて其子を其命令通り育つるにあります。則ち婦人は婦人自身の個性、人格は認められず、只夫の從順なる隸屬者、慰藉者であり、又家庭の犧牲者である事を主張するのであります。言を換へて申しますれば、昔の女大學や小學で云うてある妻に、今日の人氣に投する樣、良妻賢母と云う美名を附せし丈であります。其實質は昔と何等異りたる所なくして、單に今日の衣服を着せた丈のものであります。然るにケーだのハーツリーだの又人種改良論者のセリピーなどの唱ふる良妻賢母主義なるものは、更に優秀なる子孫を後世に傳へん爲めに、婦人も男子同樣人格を備へて居る事又其人格に相應する丈の尊敬を受く可き事は、既定の事實として何等異議を云はず、只男女特性の相異よりして婦人は其特質上其人格を完全に發達し、其幸福を極度に得、而して其本領を十分に發揮さす爲めには、各人共男子に劣らざる教育を受け、强制だの、無智だのに基かずして、眞正なる戀愛に基ひて、對等なる見識と權利を以つて、男子の隸屬者にあらずして、其伴侶として結婚し、かくて幸福なる家庭を結び又其結果として健全、優秀、善良なる子孫を後世に傳ふるにあると主張して居るのであります。實に現今の我國の良妻賢母主義とは遙か高尙なるものであります。

そこで大塚氏は人種改良論者丈に他の同論者と同樣の弊に陷つては居られますまいか。又同氏の良妻賢母主義は現今の我國に行はれて居るものと同じでせうか。或は歐洲に行はれて居るものと同じでせうか。若し前者ならば私は最早今日迄本欄で再三再四其馬鹿々々さを批評して置きましたので、今更之れを繰返へすのは其煩に耐へませぬ。若し後者ならば之れを主張せらるゝ前に、先づ以つて婦人の人格を認め家庭にある婦人は男子の隸屬者でなくて其伴侶である事を明かにし、婦人には十分男子同樣の高等教育をほどこし、十分に自由を與へ、又平生より經濟上の獨立を得せしむる丈の諸般の準備をなさしむる等は、絕對的に必要であります。而して是等の尊敬も自由も機會も與へずして於て單に良妻賢母になれの、理想的の家庭を完成せよと云つた所が、手足を縛つて居いて、立つて働き且つ走れと云ふと同じく、何の役にも立つものではありませぬ。

而して最後に私は同氏が婦人の本領は家庭にのみある樣に云はるゝには大に不同意であります。家庭ばかりが人の働き場所ではありませぬ。其外に社會と云ふより廣き場所があります。而して此社會は男子のみが組織して居るものではありませぬ。婦人も亦た男子と同數に其組織に參與して居るものであります。從うて婦人も男子同樣此社會で働く事を欲し、又それに適當すれば、之れを妨ぐる理由はないのであります。云はば社會の株を男子と同數丈持つて居る株主であります。其大株主が其社會を經營せんと欲するに他の株主の男子と同樣なる權利を持つて居るは勿論、是非男子同樣其經營の任に當つて貰らはなければならぬ必要あ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る事は、自明の理であります。然るに婦人は男子と同數の大株主でありながら、婦人なるの故を以つて社會の經營に立ち觸はつてはならぬ、婦人は家庭内に引込んで居ればよいのであると云ふは、道理にも合はず、實際にも適せず、且つ社會の幸福進步發達の爲めに頗る不利益なる、偏狹なる考であります。家庭であらうと、社會であらうと、婦人が自ら適したると信ずる場所で、思ひ存分に其技倆を發揮する事は、婦人に取つては滿足であり、又家庭や社會に取つても最も利益ある事であると思ひます。

。。。大塚氏の御論文に對しても他氏の御論文に對すると同樣、本欄では數行又は數十行位の批評で終る筈でありましたが、同氏の篤學と眞面目なる態度に對して、夫れ相應の尊敬を拂ふ可き必要上、且又私共婦人の本領天職に付て因習の久しき、世間に不尠謬論僻說が橫行して居りますから、此機會を利用して愚見の一端を述べて讀者諸君の御參考に供せん爲め、例外にかくは長く此「八ッ當り」を說ひたのであります。

ベラミーを讀む

鐵道の書記で食ふや食はずに困窮して居た、ジュロアと云ふ男がもとの友人の可成成功して居る新聞記者の周旋によつて、記者になりダン〱出世して行く。其のジュロアを中心としての日常生活、社交殊にジュロアの關係した多くの婦人を綿密なる觀察によつて描いたもの。自然派の大家モウパッサンの作丈けに自然的眞理とも見られやうが、古い人などは赤面するやうな極端なことが憶面もなくかいてある。若い青年に讀んで學ばれては、それこそ社會の秩序を紊亂されるかも知れないが、僞善に過ぎて人情迄僞る情的方面の眞の人生といふものゝ解らないで、現今青年男女に此の理解なき頑固な人が反感を持たずに無邪氣に讀んだら大に好からうと思ふ。曾つて十錢本として發行された時發賣禁止されたのは、男女關係のみを抄譯されたからだが、これは全譯であるからよい。政治經濟、新聞記者生活、などの社會的の事件も多く彼方の事情を了解する爲にもおもしろい。出版早々三版四版になつたのでも、如何に若い人達に歡迎されてるかゞ解る。

『ベラミー』とか『理想の良人』とかを讀んで著しく感じたのは、彼方の婦人、殊に結婚した夫人が社會に立つて交際するのに、如何にものび〱と自由である、その爲め、科學知識に富んで居る事、政治などにも男子と同じ樣に興味を持つて居る事や、夫も妻も、夫婦間には話せない樣な事を語り合ふ他の男女友人のある事で、これは無論弊害もあるが、夫や妻に心配をかけたくない美しい感情から來てゐるのも多くある。要するに内生活に豐富で、深刻であり文字にも警句名句が多い。（定價一圓四十錢　東京神田松下町十　以文館）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

シユツトネル夫人

（世界平和運動、功勞第一の婦人）

西川光次郎

ストー夫人の、アンクル、トム、キャビンが奴隷廢止運動に與へたと同じ程度の聲援を、萬國平和の運動に與へつゝあると稱せらるゝ『武器を棄てよ』の著者シユツトネル男爵夫人。彼のアルフレッド、ノーベルをして世界平和の運動の爲めに其大資産の五分の一を提供せんと決心するに至らしめたシユツトネル夫人。露帝をしてヘーグ萬國平和會議を開らくの心を起すに至らしめたのはブロッホの『戰爭の將來』に次ぎては、『武器を棄てよ』の感化であると云はるゝ其の著者シユツトネル夫人。又日露戰端の開かれんとする最初から時の米國大統領ルーズベルトに仲裁者たれよと注文したと云はるゝシユツトネル夫人。其の夫人が六月下旬に逝去したと云ふ電報を見たので私はフレンド女學校のチ、ボールス先生、及び辯護士宮岡恒次郎先生などを訪問して、寫眞や材料を拜借しソレを私見で安排して、此の文を作つたのである。

其の私生涯

シユツトネル夫人は墺太利の一軍人の子として千八百四十一年に生れたのであるが、生れて一二年にして其の父を亡うて居る。又其の娘時代に許嫁の夫を亡うて居る。夫人が夙に人生の不幸を味うた人であつたと云ふことは、此の二事からしても想像することが出來る、而して之れがドレ丈け夫人を考へ深き人たらしめたか知れないと思ふ。

夫人がシユツトネル男爵と相愛するに至つたのは其の三十三歲の時で、男爵は夫人より七つも年下であつた。其の爲め双方の兩親が之れを拒んで此の結婚を許

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

可しない、ソコで兩人は手に手を取つて露國コーカサスの山中へ逃げ込み、茲から獨乙の新聞へ投書して其の原稿料で數年間生活した。此の間には隨分困つてパンの欠乏した日さへ尠なからなんだが、併し笑はぬ日とてはなかつたと云ふことである。戀と云ふものには實に不思議な力のあるものである。

千八百八十四年に至りて、双方の兩親共に兩人の結婚を許したので、兩人は墺太利に歸り、兩人机を並べて創作に就事した。過ぎし數年間コーカサスよりの通信で文名がヤヽ賣れて居たのである。而して夫人が戰爭と云ふ題目に就て考へ始めたのは其の四年後、即ち千八百八十八年からである、夫人は思ひ付くや否や歐州近代の戰爭史を調べ、赤十字社の事業、ナイチンゲールの傳なぞを調べて、世界平和の可能を信ずるに至り小説にはヤヽ自信のある所から、其の考を小説風に書いて『武器を棄てよ』と題する一卷の原稿とした。さて出來たので其の原稿を色々な新聞雜誌記者に見せたが、誰れも連載せうとは云はない、で止むなく單行本として千八百八十九年にドレスデンから出版した。所が意外にも大なる反響が各地より來つた。夫人の

公生涯

は此の書の誕生と共に始まるのである。從來婦人の名は狹き範圍内にしか知られて居なかつたが、『武器を棄てよ』は數年にして二十餘萬册を賣り盡し、歐州八ヶ國の語に飜譯さるゝに至つたので、夫人の名は歐州全體に響き渡り、世界に知らるゝに至つた。

『武器を棄てよ』の出版二年後、夫人はローマで開かれた第三回目の萬國平和會議に出席し、其の翌年には伯林の若き出版業者にすゝめれて、自から主筆となりて雜誌『武器を棄てよ』を出版し、又千八百九十六年には墺太利平和の友協會を創立した。斯く夫人は實際に平和の運動をも爲し、著書の力と兩方で、いよ〱高名たるに至つた。伯林に於ての如き、夫人が演説をすると云へば、警官が大騷ぎをせねばならぬ程「聽衆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が集まつたと云ふことである。
千九百〇二年に其の夫、シユツトネル男爵は長逝した、夫人は嘆き悲しみて、其の世界大の名譽も、其の使命と信ずる所のものも、悉く捨て顧みず、將に退隱せうとしたが、夫が能く此の事を承知して居て、臨終前に認めた遺言状の中に、其の事を書いて『悲しみて其の使命を忘れてはならぬ、自分の死後も相變らず世界平和の爲めに働いて呉れることを悦こぶ』と云つてあつたので、夫人は再び平和の爲めに働くの勇氣を得たと云ふことである。ソコで千九百〇四年には海を渡りて米國ボストンで開かれた萬國平和會議に出席し、千九百十二年に再び渡米して諸所を講演して歩いた。

夫人の傳道振り

夫人がストツクホルムの平和會議へ送つた書簡の中に

國際正義の制度を設定するの途上に於ける二大障阻は、一は軍人及び戰爭を悦こぶ人々にして、二は戰爭廢止の可能に疑を懷き、止むを得ざることとなりとして之れに默從する人々である。而して此の第二の人々の中に婦人が甚だ多いのである。

何人も、化學、天文學、電氣學等の問題に於ては、先づ其主題を研究して後にあらずんば其の意見を構成することの出來ないことを承知して居る。然かるに獨り平和の問題に於ては、研究せずして意見を構成し戰爭廢止は不可能だなぞと云ふ婦人が多いのである。私は斯かる婦人達に萬國平和の論も今はモウ一つの科學であると知らせたいのである。願はくば世の婦人達よ、平和問題を其の研究の項目中に加へられよ云々

と云うてある。之れを以て見ても、夫人は徒らに感情的に平和論をした人ではなかつた、宗敎家の熱心を以て、科學的に平和の可能を傳道した人であつたことが知れる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人と平和運動

夫人は千九百十二年に米國の諸所で講演して歸つて後は、老齢の故を以て退隱して居たのであるが、本年六月逝去の不幸を見るに至つた。此の人の外に、婦人で平和運動者として世界に名高い人々は、英國のベッコバー孃、米國のアンドリユー夫人、南米アルゼンチンのデコスター夫人なぞである。尙ほ米國には、婦人の中から平和の爲めに働くものを養成する目的の團體があつて、此の團體では

戰場に赴きて、悲慘な死を遂ぐる青年は、悉く之れ婦人の腹から出たものである、されば母は父に比し其の子の死を悲しむ情が強よい、婦人は男子よりも平和に熱心せねばならぬ理である。ラスキンが婦人が平和運動に志すに至らば、萬國平和は直ちに來ると云うてあるのは、早くコヽに着眼したものである

と說いて居る。

私は日本にも萬國平和と云ふ様な雄大な理想を懐ひて立つ、偉大な婦人の出でんことを心から祈りて止まざるものである。

イブセン夫人

スザンナは實に賢夫人で、五十年の間、洵に忠實に彼の爲めに盡した、イブセンの天才が世間に認められ、其の行路が滑かになるまでの間に、夫人がドンナに彼が補助者として、慰藉者としての力を示したか知れぬ。さればイブセンも夫人を愛すること非常で、夫人に「私の猫」と云ふ綽名をつけ、夫人が少しでも留守にすると、猫はどうした、猫はどうしたと云うて、騒いだものだと云ふ。

彼の作「人形の家」のノラ夫人は、人形の様に可愛がられるのはイヤだと云うて、家出をするが、作者イブセンの夫人は「猫」の様に可愛がられて得意であつた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新興婦人短歌

大阪　竹内夕子

君がますあの紀の國の我が故郷ポプラ並木に白かべの見ゆ
君と行く道頓堀の明るみや二つの胸にひゞくどよめき
あの時の君の言の葉なつかしきカフエーの夜の物語りなど
青々とみどりなす野にけふもまた君おもひつゝ一人笛ふく

麻布　片桐くみ子

夏休み遊び過して兼題にけふを限りと夜を徹しけり
秋ふけて破れし垣根によろ／＼と金輪草の花さきにけり
年余りたよりもあらぬ朋輩にいやみかきけり蚊のなく夕
友とふて夏の夜ふけし歸りみち巡査の眼われをあやしむ

月島　吉波良子

みごもれば皆恥らひぬ自らは強き誇りを持たんとおもへど
泥舟に育つ小供のひれもすに坪ばかりなる部屋はひまわろ。
宵市に荒ごもしきて、古足袋などちと並べたろ淋しからずや。
黒髮のうすらぎぬれば路ばたの石を見ろごと男と語る

四谷　近藤なほ子

亡き友の其戀人は詩人にて事細かにぞ歌ひ泣きけり
奉公をなしたろ時と以前とを思ひ比すべき日なりけろかな
快活に心うく日は物がみな笑みてキッスを乞ふ如きかな
小說をよむ度每に堪へがたう君に文しぬ劣らじ物と

今月は誠に淋しくて而もよい歌ばかりありました、くみ子さんの朋輩にいや味をかくと云ふうた、艮子さんの宵市、黒髮二つとも甚だけつこう、なほ子さんの詩人の戀人が事細かにぞ歌ひ泣きけり、奉公をなしたろ時と以前を比べろ日がない等と、共に近頃珍らしいよいうたと思ひました

晝寐して夜ねて起きてひる寐して胸のむかつく夢を見るかな　（みち）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

イヴの家庭教師（下）

みをつくし

次の日に、イヴは虎の許へ敎へを受けに走つた。

虎は此のエデンの園では、光照と知識との象徴的動物であつた。虎はイヴを見るや否や、待ち受けて居たやうに、

『おゝ、小さな夫人！　美しい生物！　あなたは未だまだ知らなければならない事を非常に澤山持つて居ますよまあそこへおかけなさい。』

と云つて傍の木の切株を指し、粗毛の眉の下から、情深い瞳で此の小さな女王を眺めた。

『まあ、おかけなさい。奥さん、あなたは昨日孔雀から虚榮の敎授をお受けになつたでせう。』

『えゝ、私もあれで一安心しましたわ。』

とイヴは子供らしい誇を示した。

『さうでせうとも……。然し奥さん。まだ〳〵そんな事で滿足しちやいけませんね。』

『滿足なんかしませんわ……。私、まだ何かいゝ事を覺えたいのよ。』

『さうですとも。それぢや、私は、如何にして男――男と云ふのはアダムの樣な動物を云ふのです。その男を如何にして征服し、籠絡すべきかと云ふ事を敎へませう。

『第一に私の柔かい天鵞絨の樣な此の足の裏を御覧なさい、ね。ほらこんなに柔かいでせう。然し此の天鵞絨の樣な足の裏には、こんなに鋭い爪が匿してあるのです。そこであなたは、常にさう云つた風の抱擁と愛撫とを男に對してするのが必要な事です。

『次に、私がいつでも喉をゴロ〳〵鳴らして居る懶惰の風を御覧なさい。それは心から懶けて居るのではありません。少しも油斷のない、神速な私の注意に假面を掩うて居るのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『そして私の隱密で、他の目を偸む有樣をお習ひなさい。それは目的物に秘密に近よつて、急に飛びつく時の用意なんです。總て自分の目的物を得ようとする時には、その物へは少しも目をつけないで、そんな物は要らぬ、私の欲しいのは他にあると云ふ樣子を見せて、其の目的物に近より、對手に油斷をさせて置いて飛びつかなければ駄目です。

『これ丈が私の敎へる課目です。さ、奧さん。あなたとそしてこれから後の女は、永久に男を征服しませう。そして常に幸福である筈です』

かうしてイヴは、虎の敎授の全課目を會得した。そして、イヴ以後の女の心には、虎のやうな性質が深く藏されて居て、男に對し常に裏切者になつてしまつた。

丁度そこへ一疋の山羊がやつて來て虎に云つた。

『アハ………。虎君、君の敎授振りは實にうまいものだ。すつかり詐欺的性質を、この子供の令夫人に敎へ込んでしまつたね。――。お丶、小さな奧さん。一寸お聞きなさい。一體男と云ふ奴は存外のろいもので、丁度山羊の樣に柔順な怠け女を馬鹿に可愛いがるものです。山羊は一寸見には柔順で、其實非常に強情なんです。一體柔順と云ふのは裏切者の第一の要件なのです。馭され易い、可型性の性質を見せてやると、男は何んな偉いのでも、たまらなく嬉しがるものですよ。』

イヴは靜かに云つた。

『お前は山羊ね。お前はほんとに色々の事を知つてる樣だわ。何うぞお前の知つてる事をみんな敎へて頂戴！私はそれをみんな自分のものにしてしまひたいから。そして何時でも入用の時には、其の智慧を出して使ひたいんだから………。』

かうしてイヴは、山羊から『裏切の前の柔順』と『馭され易すさうな樣子』とを習つた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

イヴはこれ等の新知識を、『全き無能者』アダムに毎日々々應用して居るのを、批評的の眼で見て居た猫が、

『おゝ、あなた！　おん身は尙多くの事を知る必要がありますぞ。』

と、嚴然と丸で神託的に叫びました。

彼女は直ちに猫から『瞞着』、『逃げ口上』と『如何にしてヒケラカシをやつて男の氣を揉ますべきか』と云ふ三科目について敎へを受けた。

男から呼びかけられた時には、少しも知らぬ風をして居ながら、だん／＼ニジリ寄つて男に近よる事。いつでも集會の席では、自分を一尺でも上座に坐らせる事、好奇の惡い癖、狡猾で執念深い事、及び其他猫らしい品性は總て此の時に猫から受けた賜物である。そしてそれが、後世の女に遺傳されたのだ。

次の先生――强情な驢馬からは『頑固な片意地』を習つた。それを甘く手加減して使へば、彼女は間違なく、常に都合のよい結果を得られると云ふ保證まで附けられたのだ。

牝鷄からは、男と一所になる事――家庭を作る上に必要な總ての條項と、牝鷄らしい怯懦とを敎へられた。

『カメレオン』からは、何うして四圍の事物の色彩を眞似し、自分を扮飾すべきかを習つた。これは美術の課業時間であつた。

そして鰐は非常に有效な、甘い係蹄をかける方法を、次の様に敎へて呉れた。

『泣く事は、よく硏究しなければなりません。眞に悲しい場合に泣く事や、嬉しい時に淚を流すのは何でもありません。しかし或る目的、或る慾求の爲めに流す淚は實に女にとつては、唯一の武器で、又最後の隱れ家なんです。男との不平均な戰爭に於て、女が常に勝利を得るのは實に此の淚です。だから何時でも必要に應じて淚を流す練習をしなければなりませんよ。甚麼危險に際しても、此の淚さへ流せば男の手から逃れられるし、又如何なる望みも立ち所に達せられるのです。』

イヴは熱心に此の課業の練習をした。そして淚を目に一杯ためる事。やがてそれを大きな眞珠の玉のやうにし

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、桃色の頬の上に轉がす事等に熟達した。

最後の時間の先生は蛇であつた。

此の先生はエデンの花園に住むあらゆる生物の中で、一番陰險であつた。しかしイヴにだけは非常に親切にしてくれた。

蛇は自分の授業を始める前に、最一度今迄の先生の敎へた課目の一々について試驗をした。イヴは何れの學課にも全點で及第した。

立派なものです。ほんとによくこれ迄上達したものですね。しかし決して油斷してはいけませんよ。さあ、これから私の受け持ち學課を敎へて上げませうね。』

とそこで、蛇の眞の課業が始まつたのだ。

それは『不得要領』と、『ニヤ〳〵した愛嬌』と、『彎曲した形の優美』、『うまく取り入る媚』、『口說き上手な誘惑』と、そして『惚れ〴〵する樣な眩惑』とであつた。

これでイヴは、幼稚園の全學科課程を目出度く卒業した。尙イヴは進んで小學校に入り、女學校を卒業した。

エデンの園の動物、殊に蛇は一番親切に敎へてくれた。憐れなアダムは何度となくイヴに諭したけれども、其都度イヴは大反對で、少しも聞き容れなかつたので、遂々、神樣の林檎の實を竊んで喰べる樣な事になり、アダム迄誘惑し、裏切者になつてしまつたのだ。

イヴの娘達は、母親から受けたこれ等の智慧を完全に、否、もつと誇張して次から次へと遺傳して行つた。

これ等が、女の持つて居る唯一の武器で、又是れ以上には、どんな力も持つて居ない。けれ共、男と云ふ男は皆、イヴの娘達に裏切され、征服されて居る。

（一九一四、五、二四）　——完——

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

パーキンス孃を訪ふ

西川文子

六月二十五日夕ぐれ、赤坂檜町十番地ダルトン孃(女子大學教授、孃は日本に來遊されたのであるが大變氣に入つたのでとゞまつて同校教授となられたのです)方に寄寓せらるゝパーキンス孃(米國新聞記者)を訪れました、御約束のあつた高野先生は已に御來訪になつて居て、先づダルトン孃とパーキンス孃とに紹介して下さつた。他に四五の米國婦人と一人の米國男子(やはり新聞記者)と同席せられた。

同氏等來遊の目的は主として日本婦人が商業にドレ程從事するに至つて居るかを研究するにあるとのことでした。同夜婦人問題についてや、人種改善についての話が出ました、其の時に、一米人は、米國は至極自由である爲めに青年男女が好きな同士結婚するが貴國では聞く處によると親や仲人と云ふものが先づ選擇すると云ふが本當ですかと云ひ人種改良の爲めにはその方が良からう。米人は若夫婦は老人を邪魔にして窓からほうり出しておくと云ふ位だ、などとの戲談も雜り出て大笑であつた。私は我國の兩親や仲人の選擇條件が各自當人の健康人格愛情を第一の標準にして、從前の如く財産や地位のみを云々しなくなれば尙結構だと云つた。パーキンス孃も戀愛は天才を産む要素だから輕視してはならぬ。ユーゼニックスにも大なる關係がある、米國でもこの問題は盛になりつゝあるから大に盡して欲しいと云ふ事であつた。私も、初號以來も度々云つた如く、如何に生活狀態がよくても、衣食住が整頓して居ても、そこに精神的の生きたものがなくては眞の人生だとは云はれない、もつと〳〵無形の精神生活温かき愛の自由と云ふ事に注意しなくてはならぬと思ふと云つたパ孃は新らしき思想を普及すると云ふ事は如何に困難な事かと、雜誌經營についても大に同情され、著述なし議論をすると云ふ事は大なる力のあるもので、彼のアンクルトムの奴隷廢止に於けるが如く、近頃、粗惡なる食物改善と云ふ事についての著の如きも非常に極端にかいたもので、事實とは間違つた事も多くあるが、粗惡なる食事をする一地方があつたがそれによつて救はれた。だからたゆまず努力されんことを希ふと、云はれた又パ孃は先日女子大學で話した講話が何かに出るから見て下さいと云ひ、自分はもつと大膽な思想をもつて居るがあまり年のいかぬ人にいきなり聞かせる事はどうかと思つて、極く穩健な事を云つておいたとつけ加へられた。自國の有名な女詩人がこの頃社會的方面にむいたものをかゝれたが、彼方でも大變興味を持つて讀まれてるから、讀んで見てくれ、自分も一つ持つてゐるから是非送ると云はれた。その他婦人問題についても、お互に新らしき報導を仕合うて、いろ〳〵と連絡をつける樣に、御約束しましたから、追々は彼方の婦人生活についての珍らしい事も讀者の方々に御知らせする事が出來やうと樂しんで居ります

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

八月號

講談倶樂部

一冊金二十五錢　郵税二錢半六册一圓五十錢

爲になつて面白い講談雜誌の親玉

戀娘音羽小町（長篇新講談）……吉田楚四
大晴才次（俠客新講談）……武田仰天子
お小夜新七（新講談）……怒濤庵
村松三太夫（浪花節）……髑甲齋虎丸
村上喜劍（浪花節）……東家樂燕
民謡物語……渚の人
演藝評判記
家庭劇見物記
口繪石版寫眞版木版豐富
九星運氣
三百圓の大懸賞募集!!
伊國の落語
義士の享年……吾山
反魂香
化され
赤垣源藏……猛濤
戀の光秀（新講談）……夢想兵衞
黄金の酒宴（紀文大盡）……上野落葉
西郷南洲（浪花節）……京山若丸
武士の家（悲壯新講談）……稻岡奴之助
壯快夕立勘五郎（新講談）……阿部彰

本郷區駒込坂下四八　講談社　電下四〇五四・六四九九　振替東京六六二九

講談倶樂部夏季增刊　定價卅錢　郵税三錢　講談社發行

好評三版

凉み船

—一讀凉風肌に迫る—

雪子の御方（長篇新講談）……前田曙山
豪傑仲間（新講談）……半井桃水
裸體の貴婦人（新講談）……平木白星
怪談女の顔（新講談）……小林蹴月
頭痛膏（花柳情話）……みはる
武士の奇遇（新講談）……望月紫峰
避暑地雜感……愛園
黒胡蝶……翠山
小春治兵衞……晉山
怪賊我來也……一雨
大懸賞發表（俳句、川柳、一頁物、新作落語頓智滑稽談）
花柳だより
小さんと雲
銚子の海
海水浴……遊雀
小金井小次郎……太郎
破れ太鼓
怪談隅田川（新講談）……稻岡奴之助
細川忠利の乳母（新講談）……武田仰天子
切髮お初（花柳情話）……川島雨聲
怨みの踊り（新講談）……渚の人
噫乃木將軍（浪花節）……東家樂燕
勸進帳後日の噂（浪花節）……吉田奈良丸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

獨逸直輸入

フロリダ香水

Florida Water

芳香の永く保つ世界第一

大瓶金貳圓五拾錢　中瓶金七拾五錢　小瓶金貳拾五錢

フロリダ香水にはバイオレツト、オートコロレ、ホワイトローズ、ジヤスミレ、オホ、ナツクスの數種あり

御注文の際は御指定を乞ふ

振替口座東京二四七一四番　池田啓八宛

池田芳柳堂

警視廳免許　外用感染症疾患花柳病豫防劑

衛生試驗所證明　大日本花柳病研究會方劑

使ごころ爽快奇妙

マリーゴールド

一名 サツクイラズ

定價表

●六錠入一箱　金參拾錢　●拾貳錠入一箱　金五拾錢

●貳拾五錠入一箱　金壹圓

○効能

梅毒、痳病、其他各種ノ感染症疾患ニ對シ使用スルモノニシテ毫モ感覺上に妨害スルコトナク又子宮病、消渇其他同種ノ病アル婦人ハ常ニ本劑ヲ用ユレバ特効ヲ奏スベシ且ツ陰虱ニ苦シムモノハ本劑ヲ塗付スルトキハ其殺菌ノ効顯著ダルコトヲ知ルベシ

製造發賣元　東京市神田區岩本町三十一番地　**池田芳柳堂**

振替口座東京二四七一四番　池田啓八宛

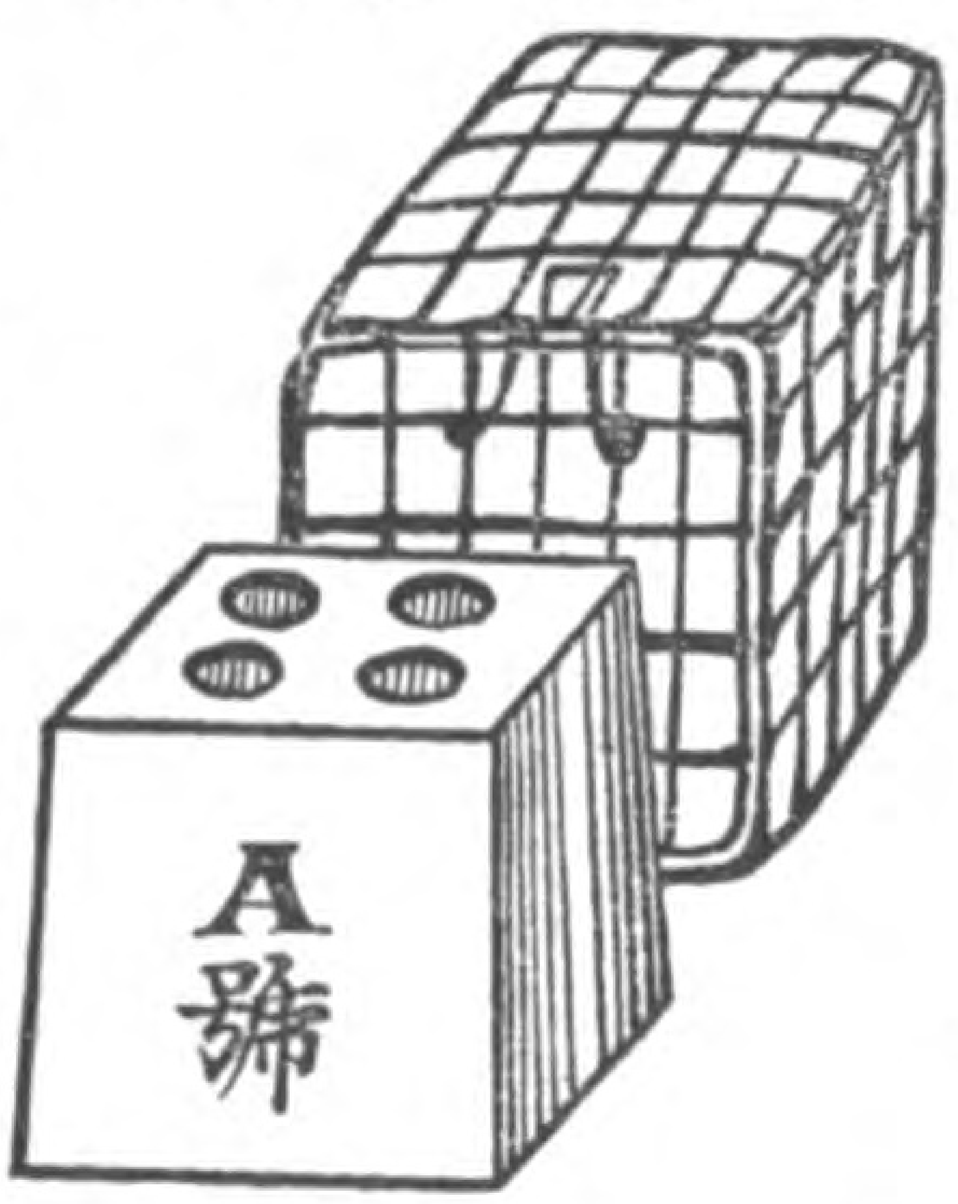
●五大醫學博士實驗有効

●二大藥學博士御證明

特許出願六五九四號

クヰック

理想的固形防臭滅菌消毒劑



●固形にして一個一ヶ年の使用に堪ふ

●流行病及傳染病の豫防に最大の効果を奏す

●蠅、のみ、蚊、油蟲、南京蟲を驅除す

定價　一個A號（金籠付）金壹圓　B號一個（籠なし）金九拾錢　C號一個（籠なし）金五拾錢

東京市神田區岩本町三十一番地

製造販賣元　**鼎商會**

振替東京二四七一四番

●●特約販賣店を募集す●●

意外の好評

君はリンビヤウで困つて居るかい、それぢや早速あの意外な飲み給へタヤスクなほるよ……

僕も先達ひどいリンビヤウでね！いろ〳〵の藥を飲でみたがどうもヨクナイ實に困つて居つた處がチヤウド僕の友人が來て君リンビヤウならあの東京淺草區並木町二十二番地岡田順天堂の意外なのみ給へ容易にナホルと云ふから二三回買つてのんだら今では治つてせい〳〵した

定價は試用三日分六十五錢・七日分一圓四十錢・二週間分强二圓八十錢

よ君僕にだまされたと思つてまあ一つ買つて見給へ淋病消渇には意外に限るよ市内なれば（電話下谷一三八二）又はがきで注文すれば直に届けて呉れます地方は（振替口座東京五九八六）又は郵便爲替にて送金すれば直に送て呉ます全國有名藥店にあり

かつけには克快丸

かつけにて手足しびれて、だろく、或はむくみ、膝がくつけ、動悸、息切れ、あり、毎年發し或は新に發せし人も克快丸を服せば、しびれ、あるものは、しびれを、むくみ、あるものは、むくみを去り治癒す、

陸軍々醫總監 林紀先生御傳方

◉**リウマチス**にて手足膝腰ふし〳〵痛み時季の變りめに筋骨痛み關節筋肉リウマチス、風濕、風毒、痛風慢性三年若くば五七年每年發病し頑固にて治せざる人は克快丸を服せば治す。各地藥店に有り

七日六十錢　十五日一圓二十錢　三日半分三十五錢　直接注文送料二錢

●ひえしつ梅毒下し

ビックリ丸

●こんなにきく藥は珍しい體内の諸毒を毛穴と大小便よりトル瘰癧、胎毒、淋病消渇、くさ、ふきで物、耳なり、仙氣寸白、腹はり腰痛み、**月經不順**腦病の如き頭痛を治す全國有名藥店に有り

▲ビックリ丸廿錢卅錢五十錢一圓試用十錢

本店東京淺草並木町
支店大阪高麗橋松屋
電話下谷一三八二（振替東京五九八六）
岡田順天堂

特約店

神田鍋町大木、神田橋本町福井、日本橋通中田、下谷御徒町中百、牛込通寺町柴田、芝濱松町栗田、吉原大門中根、赤坂八百勘店前ホーコー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外出がちの私の顔がこんなに美しいのは此の化粧水？成美液よ！兄さんもお父さんも內々の愛用家なのよ

▲成美液を用ふる男女は何時も顏が艶麗で日にやけることもなく白美を保つは外用劑として完全なる化學的白色新劑なり先一瓶を試せ

僕のにきび顔が斯く迄に綺麗になつたは矢張成美液の御蔭です、

定價 瓶十二錢◎中瓶廿五錢◎大五十錢◎持大壹圓◎送貨四錢

◎月やくの

止つた時程婦人の一大事はありません若し妊娠であれば猶身體に異狀が起る爲食物にまで變りがあります又不順でも閉止でも藥療を怠れば子宮病其他種々の病を誘發す故に月經あるべき時期に無くて逆上頭痛其他身體に障り起つた時は一日も早く專門博士の證明された奇藥流經散と云ふ信用ある藥を用ひなさい。此藥なら胃腸を害す副作用もなく安全に流下し子宮も健全になる事ほんとに不しぎの樣です藥代は一週金三十錢二週分六十錢四ヶ月以上閉止の方は必ず特製金壹圓送料二錢で送り升(切手一割增)

▼毛はいぐすり

本劑は多年經驗の化學的作用の毛はい藥にして毛の薄き人。腫物の跡。はひぎわの惡しき人是を付ければ毛をはやし艶をよくす藥價小瓶卅錢中瓶五十錢大瓶一圓特製貳圓送料貳錢

子宮サック

甲種一個壹圓◎乙種七十五錢丙種六十錢送二錢

ゴム製にして婦人衛生上必要の良器之を用ひれば淋毒梅毒の傳染を防ぎ月經時には經水の漏洩を防ぎ立居を便ならしむ委細は本品に添ある能書

▼諸粹藥案內切手貳錢郵送進呈す▲

東京市神田區五軒町
振替東京四六七一番
寶順堂

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

死に行く身

小口みち

駕籠で行くのは――おかるぢやないか――、わたしや賣られてゆくわいな――。
父さんたつしやで――、また母さんも――、

新道の溝板の上をガタ〳〵音させて、甲高い聲を出來るだけ張りあげて、小さい柏子木を其合間々々に、カツチン〳〵入れながら、今日も亦唄をうたひながらお寶を貰ひに來る子が來た、此うたが毎日聞えるとやがて間もなくドンが打つ。

あゝもうそんな時かとおみよは顔をもちあげた。

今迄つつぷした女の島田髷のほつれ毛が風にゆらめいて居るのを、默つて見て居た小父さんは

「ハハ…………」

と大きな聲を心地よさそうに出してすつと奥の方へ起つて行つて終ふ。

かごで行くのはおかるぢやないか――、

又大きな聲を出して表では唄をうたひ出す。

「もういゝからこれをあげます、早く行つておくれ」

とおみよは帯の間から二錢銅貨を一つ出して手渡してやると、男か女か正體の分らない七八つの小供は、蚊の脛のやうな手を出してそれを受け取つて、思ひ掛けないやうな顔をしてピヨクリと一つ頭を下げる。

もしや人形の首ならば音がしてそれなりに折れて終つたらうとおみよはヒヤリとした。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お隣りの何とか云ふ事務所の硝子戸の前は素通りをした、何でも音なしくお寶を呉れさうな家を撰つては歩いて居る。

『船でゆくのは武夫ぢやないか――』

とこんどはうたひ出した、五六間離れて居るが、細い淺黒い咽に靑筋を立てゝ唄つて居る、唄ふ度にビリ〳〵と其筋が蟲のやうに動くのが見える、じつと見て居ると目が痛んで來る、視線をそらすと今度は部屋の中の中古のお三寶の上に乘せられた一封の金子、忌々しいけれどもそれが目に這入る誰れの手に包まれたのか知らぬけれども、紅白の水引の端を、一筋毎に丁寧にも渦を卷かせてある、大形の奉書に包まれたのはいかにも物々しく、それに勿體をつけて床の前にキチンと置いてある。

態々黑絽の羽織を着かへて、セルの袴をはいた小父さんはおみよを呼びつけて、

『昨夜おそく御當人が持つて來たのだから改めてお前に手渡しをします、これで一切の話はすみましたお前も安心をして』

と今も今云はれた時、

『ありがたう御座いました』と一々お禮を云ふなり其まゝつゝぷしてやゝ暫らく

『駕籠で行くのはおかるぢやないか』

と唄つて來る子が來なければいつ迄かうして居たか分らない

泌み出るやうに淚が出て、目がはれぼつたい

私一人に限つた事ではなく何處の誰れだつて必ずさうするに違ひない、其みんながする事を私もするのだから別に不思議はないけれども、嚴然として自分の目前で、明日からの運命の烈しい變り方をかうして此一封が語つ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て居るのを見ると、何か知らん決しておみよには快い氣持ちがしないので、家もない、親もない、兄弟も持たぬ、かうした孤兒のおみよには、此一封の金でおめ〳〵と自分が買はれて行くやうな心持ちがしてならぬ、情ないこんな僻み心は持つまいとどんなに思つて見ても、矢張りよい心もちは決してしない。

『取つて居るお給金の高は聞く度每に減つて來るし、年を聞きやきく度每に殖ゑて來るし、それで大方の事は解つて居るぢやないの、行つて見なくつてもちやんと私には分つて居ます、そんな所へなんか誰れが嫁つてやる物ですか、初めから私はゆかないと云つて居るのにとう〳〵こんな物を先方から寄越すやうにして終つたのは貴方お二人の勝手です、私は決してゆきません、これは返して終つて下さい、たつた今あの嘘吐きの仲人道樂の慾張りの小母さんの所へ阿母さんあなた持つて行つて、渡して來て下さい。』

茶々無茶に自分の緣談を氣狂ひのやうになつて叩きこわした近處の我儘娘の事をおもひ出した。

おみよには此我儘娘が、今は羨やましくつて仕樣がない、私に我儘を聞いて呉れる親がもしやあつたならば、行きたくも何ともない所へはゆきたくありません、勝手に極めてお終ひになつたのだから此一包みは返して來て下さい。

と近處近邊へ鳴り渡るやうな大きな聲を出しても荒れて見せる、地團太をふんでも歸させてやる、私には泣いて見せたり怒つて見せたりしてそれを無理にも云ふ通りにさせて見る對手がない。

『いろ〳〵有りがたう御座いました』

と一帶何處から出たか妙におかしい聲を出して小父さんに嘘をついた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何時になつたら私は好きなものは好き、本當に嫌ひなものはきらひと、明瞭云ひ切る事の出來る時が來るのであらう、大方そんな時は來ない仕舞に私は死んで終ふのだらう。

『病身で何だが長生きの程も覺束ない可憐いさうな娘だから、どうか貰つて面倒を見てやつて下さい、病身の子――、病身の子――』

と私の事を云つて賣つて歩いた人があつたから知らん

『病身の子買はう』とあの色黒の小柄な目のギヨロリとした男が名乘つて出たのなら、私は駕籠に乘つて賣られて行くのに異存はないけれども…………　……

『女は一生の中に何度も〳〵死なきあならないんだから、それでめつたに死んではならないんだよ』

と鋭い聲が大事の時には屹度おみよの身の廻りでさゝやいた。

この聲がおみよの守りの神だつた、おみよはよくそれを知つて居た、だから今迄一度も死んだ事はなかつた。

大方もうあの鋭い聲の守り神は私を今度限りに見放して遠いよその方へ行つて終ふのだらう。

おみよは又つつ伏して顏を布團の中へ埋めて終ふ。

のどかな日射しが斜におみよの脊の上からお太鼓に結んだ帶の邊りへかけて、面白さうに歩き初める。

『めつたに泣かないあの娘が泣いた、嬉しかつたに違ひないあの金で簞笥と鏡臺を買つてやるとすつかり支度が出來て終ふヤレ〳〵』

小父さんは羽織もぬがないで白梅の煙りを三筋の糸にして、鼻と口から吐き出した。（完）（大正三、六、一五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛の力（下）

座古愛子

群馬縣前橋市のとある横小路に、一間の格子に半間の入口といふ、極小やかな、貧乏長屋の數軒列んで居る奥から二軒目に、未新らしい標札には『橋沼宇三郎』と書いてある。近所の噂に寄ると、家内といふのはほんの夫婦二人きりで亭主は巧者な人で、一定した職業は無い代りに、今日は叩大工に雇はれて行き、明日は手傳にといふ樣な事で、何でも御座れによく稼ぐのと敏捷で頓智がよいので、何にでも間に合ふから、人が重寶がつてよく雇いに來る。分けて前橋敎會の堀牧師の大の氣に入りで、何かと世話を燒いて、夫婦の者をいたはられる事は實の兄弟か子の樣であるとの事。妻と云ふのはもと牧師の宅に長く使はれた下女であつたが、仲々心だての善い婦人であるとの事。併し此頃は稼ぎ人の亭主は病氣で寢て居るとの事で、どんな樣子かとソツと覗いて見ると、空氣の流通をよくする爲めか、開け放した座敷と云うても、三疊と四疊半との二た間きりで、其の四疊半に寢て居る亭主の側に坐つて看護しながら針仕事して居るのが妻らしい。未二十一二のちと肥え過ぎて姿はよく無いが、色白のきめの細かい丸顔で、髮の黑いのが引立て、仲々可愛らしい良い女房ぶりである。

『貴郎？　氣から病と云ふ事もありますからな、イラ〳〵せずに、充分養生して、全快さへすればいくらでも稼げもするし、取り返へしも付くのですから、ちつとも心配なんかせぬ樣に、氣長く思つてゐて下さい。牧師さんもあんなに御親切にして下さるのですし、私もかうして及ばずながら賃仕事もしますれば、まづ其日に差し支へる樣な事もありませんのですものな。先づ〳〵氣の持ち樣が第一ですよ』

『おまへがそんなに云うて吳れるから、私もどんなに

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

心丈夫だか知れない。牧師さんとお前とに全く任せて安心して居るのだから、看護婦に取りまかれて、別荘で養生して居るよりも、幾倍結構だか知れやしない。牧師さんの同情ときたら、感謝の言葉も無い位だが、またおまへの誠心もどんなに有難いか私は寝ても醒めても感謝して居るよ。何でも最う一度全快なつて、牧師さんとおまへとに、此報いをせねばならぬと、其事ばつかり思ひ詰めてをるのだけど、人間は老少不常といつて、何日何時急に死なんとも云へない。そんな時に狼狽せない樣に、平常に心掛てをかねばならない。私の事については大略牧師さんから聞いて、凡てよく承知の上で、來て吳れたのだから、今さら事新らしく云ふ必要も無いが、倘ほ最少し詳しく知つておいて貰いたいのだ。ねえお蔦他人は一寸人間の表面丈け見て、あれは惡人だとか、善人だとか、勝手に判斷してゐるのだが、本當の惡人と云ふのが幾人あるか、本當の善人といふのが幾人あるか、惡人視せられて居る者の心の奥底にも神の像が輝いてをつたり、善人と敬まはれてをる人の腹の中にも、惡鬼が酒盛して居つたり、本當の善惡は神の前に立つた時しか分りやしないのだ。人は外貌を見、神は心を見る、とは此事で、つまり俯仰天地に耻ぢずといふ人間が一番善人なのだ。自己の心が自己をせめぬなら其人々こそ善人だ、人生といふ大學校の優等生なんだよ。ところが、大學には學資が入る。國許から送つて吳るとか、さもなくば自力で俥を引いてゞも苦學するとかせねばならぬが、國許に財產は無く、俥を引くには健康が許さぬと來たらどうする。恐ろしいのは境遇の力だ、優等生にするのも中途で退學するのも境遇の匙加減で、それに打ち勝てば善人となり、負けた奴が惡人となるのだ、私は大負けに負け扱いて大惡人となつたのだよ。子供の時分には日曜學校へも行つてゐたのだが、フト惡友に感化されて、一度惡い事をして留置所から出て來たら、もう親も兄弟も、親類も、友人も誰も寄せ付けて吳れ無いのだ。仕方が無いから復た惡友の所へ行く、行けばどうせろくな事はせぬ。再度捕まると云ふ樣な譯で、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

幾度も〳〵臭い飯を喰つたのだが、其度毎にもう此度出獄全く改心して善良な人間にならうと。つく〳〵後悔するのだが、情無い事には、嚴めしい鐵門を出て、ヤレ〳〵佛のお迎へでもあるかと見れば、どうして〳〵佛どころか、人間らしい者も來て呉れてゐずに、やはり惡鬼羅刹に同しい、賊仲間の連中が、着物を持つて迎へに來て居つて、オー一時、苦痛かつたらうねえ、まあ此衣を着て呉い、途中で何なと美味い物を喰つて呉ろと直ぐ料理屋へあがつて俄に珍味の食い飽きが出來ると云ふ始末で、惡友でも其の時の親切の有難さはどれ程だと思ふ。それからまた魔道に迷戻りだ

お蔦それで獄中での決心が茶々無茶粉になつてしまつたのだよ。エーまゝよ毒喰はゞ皿迄舐やう。いくら善良な人間になる心算でも人が信用して呉ないのにどうしやうも無いぢやないか。一度惡い事をしたら二度と浮び上る事は出來ない。金槌の川流ぢやないか一生頭が上らないのだもの、自暴自棄にもなる筈だらう。仲間の厄介になればそれ丈の恩返しをせねばならぬ。忌や〳〵でも、奴等の稼ぎを助けねばならぬのだ。それで私の仇名を一時と云ふのはネエ、よく機敏にたちまはつて、彼所の土藏は仲々破れ無いとてこずつてゐるのでも私が諾ッ、今晩仕事して來ると、斷言したら最後、何斯樣な大丈夫な土藏でも一時の間に破つて仕事して來るので、土藏破の方でも名人と云はれたのだ。それで一時宇三郎と云はれる樣になつたのだよ。併しそれで得意でをるのでは無い。不斷心で悲しんでをつた。吁何かして眞人間の世渡りが仕度い。誰か自分を信用して、足を洗はせて呉ぬかと、其事ばかり願つてゐた上に、獄中でフト肺病になつた時の心細さ、其の時には泌々罪の恐ろしい事や來世問題に頭を惱ましたよ。どれ程日夜悶え苦しんだか。其の時境遇の力は人間を善にも惡にも爲すといふ事をつく〳〵知つたが、またそれ以上の強い力に助けられたのも其の頃であつたよ。其の力とは愛だ。世に是位強い力は無い。人を通して來る神の愛には、どんな惡人でも改心するよ。たまらないから牧師へ端書を出したら心よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

く引取つて下すつたのだ。まあおひ〳〵話すがね、第一牧師さんの愛で、第二おまへの愛だ。人交はりも出來ないものを、兄弟とも我子とも思つて愛して下さるあの有難さと、純潔無垢の處女が、此親にも兄弟にも見放された前科者の然も肺病患者の妻となる可く、自ら進んで嫁いで來た、其美くしい犧牲の愛にはいくら私が惡人だとて砕け樣ぢやないか。生れ變らずにをれ樣か。古い句に、ねえ、

己が身を子に喰はする田螺哉

と云ふのがあるが、おまへはそれだ、其田螺だ。田螺の尻に穴があいて、其所から子が生れると、親田螺は死んでしまつて、ポント浮いてをるのを、深田などでよく見るが、お蔦！ おまへはあれだよ。』

と痩せた頰に涙を流して、眞に感謝するもの丶如く、後は言葉が出ないと見えて、ブル〳〵身を震はせながら、白い柔かい妻の手をかたく握つて、我唇にあて丶熱い接吻を與へた。妻も其手を握り返へして、女房にそんなに云ふ人がどこに有りますか、と云ふ言葉を目色に見せて、チツと良人の顏を見上げた目から玉の樣な涙がハラ〳〵と膝の上に落ちるのである。嗚呼貞女の涙は玉よりも清く、貴婦人の指に光る金剛石よりも貴い物である。相爭うて肉のある家よりは、睦じくして一塊の干ける麵麭有る方が、如何に幸福であるかとは此事である。貧も病も妨げ得ぬ愛の力は偉大である。（完）

＊　＊　＊　＊

出版業者の德義

本郷坂下町の講談社では去る四五月頃より夏期臨時增刊を「涼み船」として七月十五日に發行すると豫告した。神田の講談世界社では六月號に七月號を夏期倍號とし「すゞみ臺」として七月一日發行すると豫告した。之れまではまだよいが、七月一日になると「すゞみ臺」が「すゞみ舟」となりて發行され、新聞には「涼み舟」として廣告された。その爲め講談社發行のものと間違つて買つた讀者もあるらしい、隨分甚いやり方である。出版業者も今少し德義を重んじなくては困る。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新員俳人俳句

鳳仙花軒傾きし厩かな　くみ子
火串して怪鳥聞くや二十日月　なほ子
繪日傘の水に美くし杜若　同
藻の花や芝海老はねる曉の沼　猿一
鍋洗ふ赤い襷や杜若　卜碩
月島に錆びる汽鑵や雲の峯　瓦子
山里に目出つ土藏や桐の花　とみ子
首のばす馬に散りけり五月晴　同
冷え〳〵と山氣せまるや閑古鳥　同
鑛脈を探る人や草いきれ　とみ子
時々に浪破る岩や月涼し　茂子
欄に立つ背高き夫や月涼し　同
日傘人入りたる門や庭廣し　同
黒雲や野道をいそぐ日傘人　同
蟬暑し雨後の西日の藁庇　凋子
鐘鳴りて藻の花さびし寺の夕　同
羅の裾や蓋立つ芦模様　同

株式會社第一銀行
第卅六期營業報告

利益金勘定

一當半季純益金	一、一九三、六五〇・七四
一前半季繰越金	六八〇、七四六・〇〇
合　計	一、八七四、三九六・七四
内	
一役員賞與金	五九、六八〇・〇〇
一行員恩給及退職給與基金	二三、八七〇・〇〇
一積立金	四〇〇、〇〇〇・〇〇
一舊株配當金(年一割)	五三七・五〇〇・〇〇
一新株配當金(年一割)	一三四、三七五・〇〇
一後半季繰越金	七一八、九七一・七四

大正三年七月

東京市日本橋區兜町一番地

株式會社　第一銀行

追テ頭取澁澤榮一及取締役三井八郎次郎、佐々木勇之助、熊谷辰太郎、日下義雄任期滿了ニ付改選致候處總テ再選重任仕候

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

お轉婆帳

霜野せき子

◎岡本博士が三府の女を比較して、東京は藝者、京都は娼妓、大阪は仲居と申されました。これに註を入れますと、東京は藝者でも不見轉。京都は色も戀もない、肉慾的の女郎。大阪は義理も人情もないたゞ人の襟ばかり見てゐる仲居でございませう。

◎佛蘭西では今度ジエン、ヅユボルメルといふ二十四歳の婦人が十七世紀美術史といふのを書いて、文學博士になりました。日本も運動や駈引で、博士の學位を僥倖せんとする無學な賤しき男子より、與謝野晶子さんのやうな、紫式部や清少納言以後の天才に博士の學位を贈るべきではありますまいか。

◎代議士竹越さんの奥さんは、夫の君が芳町から藝者を身受けされたとやらで、御立腹あそばし夫の君に貞操を要求して、大變御爭ひになつたといふことを新聞で拜見いたしました。其の新聞に奥様の態度を冷嘲したやうな口調であつたので私は今日の新聞記者が前世紀の遺物であることを知りました。

◎新聞といへば魁新聞が尾島菊子さんの結婚に就て大變惡口を書いたさうです新聞記者といふ方々には人の嫁入りが、ソンナに氣になるものでせうか。私は未だ其の新聞は讀みませぬが、尾島さんが何故新聞記者を相手どつて、誹毀の告訴を遊ばさぬか、はがゆくてなりません。

◎先年東京といふ雜誌が長谷川時雨さんの役者買ひなど、いやらしいことを書き立てました。長谷川さんは怒つて誹毀の告訴されましたが。どういふものか。すぐ取り下げになりました。日本の女がコンナに弱くては、女子解放など、未だ〱遠い未來のことです。

◎英國では一警官が婦人を侮辱したといふ丈けで、内務大臣の辭職問題が起つた位です。此の位まで婦人の權威が認められる處で、初めて參政權運動が起るのではありますまいか。顧みて日本はお恥かしいことと思ひます

◎今日の新聞記者雜誌記者は、女といへばすぐ虚榮心の塊りのやうに申します。澤崎大佐、藤井少將、其犯罪の動機は奥様の虚榮心を滿足させる爲めなどと見て來たやうに云つてゐますが、之れは情ないことと思ひます。其の妻といふ名の下に、夫の罪の一半を背負はればならぬとは、昔の所謂、罪三族を戮すと同じ殘酷な仕打ではありますまいか。

◎私は日本の男子の根本的に誤つてゐる思想は、自分達の作つた正義で國法を犯すことを偉らさうに思つてゐることです其れは法律の中に惡法もありましやうが、其の惡法も知りつゝ之を遵奉し、一方其の改正を力めるのが、立憲國民の德義であります。惡法だからというて、之を犯してゐれば、人間の社會は神の國ではないから、完全無缺は遂に求めることは出來ません。近頃の個人主義者にはこのやうな誤つた思想から、論を立てゝ行く人があるやうに見えます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奥様十姿（下）

玉露女

（九）

『お前も新橋藝者の中で名うての濱龍が仕込んだ娘だ世間では神様のやうに云はれて居る奥さんの前だつて退けを取つちやいけないよ』

夫人の許に使すべくお千代の出づる時姐さん濱龍（今は○○男爵家の愛妾）の言葉はかくありき。

夫人が夫の許を遠ざけられし其隱家の前に車降りしお千代は今更心をしめて其言葉を操返しぬ『退けを取つちやいけない。』

一雨過ぎし夏の夕。木立は露の玉したゝり前栽の草花よみ返りたらむ樣に色增す中を柴の戸押して靜かに入れば古びたる石に足元あやふきを心して傳い〳〵椽に近づく。黒檀の經机に向つて物書き居し夫人は音もなく立ちて椽に迎へられた。

お千代は早や心を失ひぬ、世に我が仕ふる濱龍姐さん程美しき人はあるまじと思ひ居たりき、實に月にも花にも比ふべき濱龍は夫人の手より男爵を奪ひとりしにあらずや、されどもあゝされども菩薩の如き淸く氣高き夫人の姿は浮世の汚れの露程だに侵し難きたふとさありて自づから下がる我頭を如何にせむ。

不甲斐なしと辛く勵まして

『これは少々ばかりで御坐いますがお部屋樣が奥樣をお慰め申すやうにとの志を御覧に入れます』

帛紗開けば蒔繪の御重箱美しう差出さるゝを

『それはまあ』と重箱うけて

頭下げて靜かに奥へ入らるゝ夫人。

其姿見えずなればホッと息してお千代は部屋の中を見まわしつ。六疊と四疊半二間のみの住居に足るを限りの器具整然と塵も止めず片付けられて小さき床には

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男爵の寫し繪銀色の寫眞立に入れて飾られぬ。

『語らうに他に人もなく、自から炊事して御坐る朝夕、世の常の女ならば三日にて淋しと泣かむを此後何日否一生涯世に出づる事もなくかくて暮す夫人の胸中………………』

ふと庭下駄の音に見返れば鋏片手に草花の數々折りて椽に上る夫人の

寂住居には御返禮が何もありません、朝夕妾が眺めて居る此花は妾が育て丶子供ともお友達とも思つて居るのですお邪魔でも持つて歸つて生けてあげて下さい』

お重もこれにと出さる丶時夫人の手して洗はれし此器を默して受取るが勿體なきやうの心地しつ丶、ソロモンの榮華も此花の一片にだに及ばずと神の作り給いし百合の香はお千代の胸にひし／＼と迫りぬ。

何と云はむ言葉も出でずなりつる身はたゞ

『御機嫌よろしう』

と心から禮すれば

『宜しく／＼』

と會釋さる丶其姿よ！

其儘にたゞ其處に身を投出して御奉公をと乞ひまつらむかとばかり思ひ入りしお千代は歸さの途にて嘗てしらざりしさま／＼の事を思ひ知りぬ。

敵の許へ使する如き心地にて來りしお千代は一個殊勝なる使女と化して我住ひのなか／＼いとわしき心地して歸り來りぬ。

歸りて見れば濱龍は煽風器にか丶りて長々と横はりし絞縮緬の浴衣しどけなき體其儘

『どうだつたい、ろくな顏もしやしまい？』

（十）

『ねエ貴君忌々しいわ平氣で納まり返つてさ、私の前へ呼んで逢はせて頂戴、實は此間招んだら私だけちやお出遊ばすのがいやだつて、此方から行くなあ口惜しい、貴君が命令けて呼んで頂戴。何お千代は薄暗い處の加減で化かされたんです、私が逢つて話して見たい

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『野暮なお姫様に濱龍姐さんは負けちや居ないわ。』
男爵の命なりとて夫人を邸に迎へ來りしは一時の後なりき。
縞明石に單帶婀娜たる姿目さむる許化粧して待てる女の前に質素な夫人の束髮つゝましきが相對せり。
初對面の挨拶より話は苦もなくひろがりぬ。
『如何ですこれからお芝居でも、私此頃は始終連れて行つて頂いてますの、面白うござんことホヽヽヽ。』
『そりや結構ですのね、でもお暑い時にはお芝居も億劫で』
『でも橘屋や八百藏はいつ見ても飽きませんわ奥樣は役者なんかお嫌でせう？　河原乞食!!とか何とか云つて。でも逢つて見ると五分もすきがありやしません野暮な人間に限つて間ぬけに見えるもんですね』
本當ね………。此度橘屋が寶盛をして居ますが物語の最中に『見て參れ』つて九郎助に吩咐けて戸外を見させる所がありませう、あれを三日目あたりからよしたんださうです、暑いのに衣裳つけて居る歌六をあんまり動かすのも氣の毒に思つたんですつて、年寄りをいたわる心が感心ぢやありませんか』
『オヤ察しがいゝねエ、でもあの人のはづぼらで『見て參れ』を喰つちやつてそんな事云つてるんだか知れたもんぢやありませんよ』
『それから此春八百藏が地方で淸水一角をするので音羽屋に型を聞かふと思つて『聞きに行つて差支ないかつて電話かけたんですつて、音羽屋は一度は辭退したが是非敎へてと賴まれたので兎も角もと電話を切つて直ぐ赤坂へ出向いたんです而すると丁度居間で御飯たべて居た八百藏が其姿を見ると直ぐ『私から出なければならないのを來て下すつて恐入る』つてお膳を片付けて座蒲團をすべつて常もとは違つてちやんと居住ひを正したのですつて『小父さん可いぢやありませんかかまはずお喫んなすつて』と音羽屋が云ても『いゝえ今日はあなたに敎はるのだから』と師匠に對つた通りだつたさうです』
『ヘエ　感心に堅いぢやありませんか！』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

『私も感心だと思ひました、たとへ芝居にもせよ舞臺の上だけでも殿様にもなれば立派な心掛けの人にもなるのに。い丶役者と云はれる人にはそれだけの心得が無くてはならないと思ひました』

『本當にさうなんで御座んす。藝道の禮義はやかましいもんですわ、だけど一年三百六十五日眞四角左様然らばも辛氣臭いしねエ』

『そこは時と場合もい丶でせうけれど私は其人達の陰の行ひは知り度ない何でもい丶所だけ聞いたらそれだけ覺えて置けば足しになりますもの。』『こうしておちかづきになつたからお互に助け合つて行かうぢやありませんか』

『エ丶どうぞ………私しや奥様はこんな方ぢやないと思ひました、もつと權高な融通の利かない方かと思つてました、お千代!!　殿様をお呼び申してお呉れ、こんない丶奥様を粗末にしてはすみません、奥様私も御縁があつて此方へ參りましたが親身も何もない身の上で今迄意地と張で立て通して來ましたけれどあなたの樣ななつかしいお方でさへお見捨なさらうとする御前様がいつ迄私を可愛がつて下さるやら………捨てられたつて困りやしないけれど…………奥様はどうか私を妹とも思召して力になつて下さいまし』

* * * *

心屈せる時、物憂き折、濱龍はいつも
『奥様の所へ行かう…………………』
かくて其後夫人が草のいほりには艶やかなる笑ひ聲のたび／＼聞かれて姉妹もた丶ならぬ交りはつ丶けられぬ。

男爵もしば／＼見舞はれてねもごろに語らひ給ふ。

お千代は侍女となりて夫人の朝夕をまめ／＼しうつかへまつりぬとか。

（終）

▲遊藝畫報（第七號）　島田弔雪氏の「古今心中史」を面白く讀みました、氏は心中の話を二千以上も集められて居るソウです、其の根氣に敬服します（十七錢日本橋區濱町其社）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

故郷に歸りたる時の感

吉川たみ子

播但線福崎驛より、下りて、大街道を西に走る腕車の中、久し振りに、なつかしき故郷の山川に接せしわれは、言ふべからざる一種のチャームに囚へられて深き／＼懷舊の念に耽溺せり。

麗らかなる晩春の日影に四方の山々緑增し、下につゞく際限もなき廣き田圃は、靑き麥、黃なる菜の花、紅き紫雲英に彩られて、さながら花莚、敷詰めたるが如きに、畔を堰いて流るゝ水の晃々と光りて、何處よりか可愛き小鳥の聲きこゆるなど、只さへ捨てがたき風趣に加へて、觀るもの聞くもの觸るゝもの、何れ親しき友ならざるはなく今、遠來のわれを迎へて有りし昔の物語りするに似たり。

向に見ゆる小山、その下に連なる田圃、心合ふ友どち打群れて、たんぽゝ、よめな、つく／＼し、摘み飽きたる果は、此處に、下り立ちて、目かくし、鬼ごつこなど、無念の遊びに日の暮るゝも知らざりし床しき少女時代もありき、月光淸く風涼しき夏の夕、腕白男兒の群に伴いて、長き竿に草帚木揷み、螢追ひ廻はせしは此川邊なりしよと、獨、ほゝ笑めば川亦うなづきて答ふ、氏神の社、今も尙、老杉森然として空を衝き古松鬱々として緑の色、昔に變らず、舊曆十月は神無月とて全國の神々、出雲の大社に集ひ給ふ、御出立の前夜、靑年男女の縁を結び給ふとて、九月の晦日には未婚の男女、甘酒獻げて此社に參詣する奇風あり、最初の内は社前に額く男女を、神、見そなはして、彼と此と夫婦と、沈思熟考、定め給ふものを、後に至り參詣人多く雜踏するに至れば、其御暇なく彼是々々と口早に縁を定め給ふ故良緣得がたしとて、早く／＼と、急き立てられて、身支度も、そこ／＼に、連れられし無邪氣なる迷信時代の床しさよ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家に着きては又一しほ、溫情溢るゝ同胞近親の待遇絕えて久しき別後の物語りに夜も日も足らず。九十に近き祖母君の目の盲えぬまゝに頭撫で、手を握りて、よく來て吳れた、よく歸つた、と三つ四つの幼兒愛づる如くせらるゝなど幾年來味ひ得ざりし骨肉の情、離るものは疎しとの例の如く互に離隔して相會せざること、こゝに二十有余年位地境遇の異るにつれて思想趣味變りしかも詳細の事情通せず、何となしに意志の疏通を缺き友愛の圓滿ならざりしものありしも逢へば何事も一笑のうちに解決して了ふさすがに骨肉の情なるかな。

家は新らしく造作されて立派に變りたれど、ふみなれし梯子段、庭の敷石樹立など一つ〱に物語りありてそゞろ懷舊の情を忍ばしむ、他鄕にありて幾度か夢路に通ひしは此家なりしよ、あまりのなつかしさに降り立ちて樹にも石にも接吻握手しばしは去ることも能はざりき、更に昔の友の上を聞けば、或は遠く嫁ぎ、或は家零落して行衞不明又或る者は既に逝きて此世の人ならずと聞く、あゝ無情の風に城壁なし、この山村平和の鄕にまで荒み入りて舊き知人の身の上にかくも變遷を與へしよ。

町も汽車通行の要路に洩れて、今は淋しき一寒村日々に頹廢し行く樣に悽愴の感禁じ難しされど愛する我故鄕よ、汝、世の文明に洩れたりとて悲む勿れ、徒らに競爭場裡の熱閙となりて紅塵百尺世の俗物の蹂躙に任せんよりは、山紫水光自然の美景を湛へて、永久に平和の境となり世の奮鬪に勞れたる人々に平和と、休息と、慰籍を與へよ、これ汝の聖き使命なり天職なり故鄕よ、さらば、故鄕の人よ健在なれ。

▲理想の良人　オスカーワイルドのアイデヤル、ハスバンドを磯田扇三氏の譯出されたもの、寄送を受けましたから、一讀して批評をしたいのですが、本號にはあまり記事が輻輳したので、次號にのばしました。(定價金八十錢磯田三郎氏著、京橋南小田原町四ノ四泰山堂發行)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小笠原島より

吉田　庄七

敬啓

出立の際の厚き御心づくし深く御禮申上げます、殊に奥さんまで御同道で御越し下され御奨勵の御言葉身にしみてありがたく感ぜられました、西川兄並に奥さん、強さうで其實弱い者は男ですなあ、其弱い者の中での弱い者の一人は僕です、僕はつく／＼それを感じて居る、其弱き者が強きこと高きこと偉なることの若しもでき得ることのあつたなら、夫れは唯だ感激の故の一事のみでありませう、片言大勵、一寸した事が人を動かすものと聞いてゐるが、僕は彼時眞實ありがたかつたのです。

あの翌朝ヤット行李一個を整へて、新橋までたどり着けば、熊谷さんとおばあさんとが吉田先生から御贈り下さる靴を持つて待てゐて下されたのには（しかも先生がてづからわざ／＼磨いて下されたと云ふ）全く僕は先生の血肉の足を戴いたやうな心地がしました。新橋では渥美兄等のお世話で、横濱では山本蘆葉兄に送られて、無事芝罘丸に乘込み午後二時に出帆いたしました、其夕暮は大島の沖を走り、伊豆の山々を遠く眺めて暮れ行く夕映の中に富士の姿を拜した時は、莊嚴とも幽遠とも、何の言葉か之を表すべき、眞に海にあらざればの感がありました。

翌拂曉、船は八丈島の神湊と云ふに着きましたが其時昔流人の心を寒からしめたであらう巖角の上より船を掠めて血の出るやうな杜鵑一聲をきゝました。

此夜船は黒潮の流れを横ぎつて十二日は一日海上に在り、十三日の午少し前、父島の港に入りました。

港と船の中ではやはり人生の種々なる悲喜哀歡を見せられました中に「井頭」と警官とに送られて小笠原島に送られるのだと云ふ十四五の破れた着物着た少年が、昨日以來泣きに泣いて居ましたが子供は無邪氣なもので八丈寄港の頃より急に懇意になつて、前途の光明をも語合つて、頗る元氣づいて居りましたが船父島に着して見れば少年當學園に收容さるべく電報が來て居たのでした、少年姓は尾崎です、けれども彼は日本に尾崎と云ふ司法大臣のあることを知つてゐないのです。

父島に上陸して先づ目をひいたのは歸化西洋人等の姿です、觸目の風物亦宛ら繪に見る南歐の一島にで

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

も來たやうな感じがします、港には南洋に密航し行くと云ふ船も碇泊してゐます、導かれて休憩と晝食との爲に入つた旅宿には、此新年三崎で相知つた北原白秋氏の滯在して居られた奇緣におどろき、直ちに氏に誘はれて防風林に行き海の美と此島の特色などに就て聽きました。

此島學園所在地より海上一里鏡の如き南の海を、學園所有のカノー(南洋獨木舟式)に乘じて渡つたのは、實に愉快でした。學園に來て見れば校舍並に家族舍在る所全體が一個の庭園と言つていゝ程の處で、其東と北の二面は山續きでふり分け山は卽ちペルリ提督が米國國旗を揭げた跡であり、南と西との二面は間に小山を挾んで海になつて居、朝夕海の音をきくと共に又筧の音をもきくのです。こゝでは今每朝鶯の聲に目をさまし(生徒等と共に五時前に起きます)、夜は虫の音をきいて居ります。學園には山羊や七面鳥や乳牛やなどを飼つて居り、午後からは生徒等と一しよに農場に立つた後、三時半前後からは每日海水浴です、時に蜥入道が生擒にします當地の海の色は實に〳〵綺麗です、南天の星は低く輝いてゐます、今月此手紙を認むる前小高丘に登りましたら、三尺許りの太陽が穩かに海に沒んで行き、餘光はしばらく映えに映えましたやがて明星は大きく美しく光を放つて輝き出でます。

學園の模樣をば詳しく記して貴誌に投じ度いと思つて居ましたが此度は時間がありませんので後便にいたします。

平壤より

栗原陽太郎

私等が平壤に來てポプラの青葉に圍まれた敎會內に住み初めてからモウ二ヶ月過ぎました。當地は今恰度雨期に入りましたので餘り外の働きが出來ませんからそれを幸に讀書や靜思に落着いた心の生活を樂むでゐます。東京を立つ前に御主人始め高島先生などにも御話を伺ひに出るつもりでしたが急に出發する樣になりましたので遂御目にかゝれませんでした。併し月々新眞婦人を送つて頂くので皆さんの御活動を心より喜んで拜見してゐます。今日は久しぶりに御無沙汰の御詫をかね皆さんに朝鮮の婦人のことを少しく申上げます。

旣に一ヶ月以前のことでありましたが陰曆端午の節句に朝鮮の婦人が內地人の豫想も出來ない活潑な野外運動をする有樣を見物に出かけました。その日にはありとあらゆる朝鮮の老幼總ての婦人が盛裝して山へ山へと目蒐けて上つて行きます。日本では端午の節句は男兒の祭りでありますが朝鮮では重に婦人の祭となつて居るやうです。御存知の通り朝鮮人の服裝は至極便利に出來て居ます。序に申上げますが日本の婦人も早晚衣食住特に衣服の改革をやらねば今後歐米列國と相伍して世界に活動することは到底出來ないと思ひます。勿論精神生活をして光輝あるものたらしめる點から考へてもこれは一大問題です。あの男女とも洋服に似た筒袖の着物を鮮人が用ゆる樣になつたのはまだ廿年ほど前からの事ですから鮮人は衣服の改良に於て內地人より進むでゐます。それで紫や紅や桃色や純白などの綺羅を飾つた婦人達が原始的の感じを與へる五色の着物を着せた多勢の子供をつれて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ゾロゾロゾロゾロ喃々喋々しつゝ道一杯になつて山に上つてゆく處は誠に物珍らしく感じます私はその日弟をつれて午後二時頃から牡丹臺にゆく江山本通りを進むで乙密臺のある山に上つて觀ました。マア何と云ふ光景でせう。北には牡丹臺の中腹に盧子の小說で名高い小牧の茶屋や斷崖に臨むだ浮碧樓が見えます。その下には悠々たる大同江の海水が碧瑠璃を湛へて淵をなし流れ〳〵て箕城々下を迹つてゆきます。西には松籟清風の曲を奏でてゐる林間に箕子の陵が幽に見えます、東南は際しもなく開けた大平原が江の左右に横つてゐます。この遠大な風光を恣に出來る乙密臺下の高丘に、集まつたり〳〵鮮婦人の群衆萬を以て數ふる斗り。各々友や家族親戚と群をなして松樹の下に美しい敷物を展べ酒宴を張つてゐる。そして稍大なる松と云ふ松の枝には一丈五六尺位の鞦韆を懸け大供小供母も娘も一緒になつて非常なる勢を以て鞦韆を揺り殆ど松々枝と水平になるまで勢をつけて何の恐るゝこともなく終日遊び暮すのである。年中室內にのみ蟄居してゐると思はるゝ鮮婦人がこの活潑にして愉快なる山遊びを三日間續けるのである。新眞婦人方には何でもない事であるが內地一般の婦人にこれ丈け大仕掛の野外運動が出來るか氣遣はしい事である。更に高い山の上からこの丘彼の丘に群がれる光景は松葉牡丹が咲いてゐる樣に見える。更に高く上つて見ると南京玉が撒き散されてゐる樣である。啻これに止まらぬ。江の流れに舟を泛べて歌ふもの舞ふもの太鼓の音鼓の調べ中々の賑ひである。鮮婦人が悠うした快活の遊戯を楽むことか出來るのは末頼母敷いことである。朝鮮の文學はこの日を中心として生れるのである。花嫁花婿の撰選や見合もこの日に行はれる。

それからある夜江に舟を泛べて內鮮合體で十五人許同舟の客となつて月下に牡丹臺まで溯つた事がある。勿論基督敎信者許りではあつたが中に某女學校長たる鮮婦人が女としては只一人加はつた。その婦人が男子の間に介在して且つ笑ひ且つ談ずる樣英米の婦人かと怪まるゝ許りであつた。一夜の舟行この婦人によつて大なる活氣を添へられた。內地の神經質なる女流敎育家には夢想も出來ないことかも知れない。

更に一般集會に對して婦人の出入多いのは意外に感ずる位である。近頃崇實大學の卒業式に招かれて參列した處が來會者約三千人その中の約三割は婦人であつた。而もその婦人が子供を背負ひ或は膝にして三時間餘に亘る大集會に列し泣聲一つ擧げさせない處は實に感服の至りである。

以上の樣なことは鮮婦人の長所を擧げたのであるが短所は特に今茲に指摘することを要しない。この鮮婦人の長所に對し當地にある內地人の婦人を見れば徒に似而非なる都の手ぶりのみを模倣して新天地に於て新日本の建設をしやうと云ふ積極的精神のないのは痛嘆の至りであります。ドーゾ新附の同胞千五百萬人の中その半分は婦人でありますから時代の先覺者たる新眞婦人方の中から日本の運命を開拓するために見識あり實力あり信仰ある方々が一人でも多く渡鮮されて朝鮮敎化のために生涯を獻けて下さることを御願致します。

今日はこれで失禮します。

新眞婦人の彌々健全なる發達を祈ります。

（七月九日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

北海道より

吉川たみ子

三日前に貝馬一頭を購ひましたの赤かげの六才で姙孕中のもの價は百圓でしたが、ずつと價値あるものが或事情のために安く手に入りましたのです、これから忠實な内の僕となつて耕作や乘用になつて働いてくれます、子供は大よろこびで、交る／＼のりまはつて居ります、私も今其馬に乘つて町へ來て買物をしたり、郵便物を出したりして居ます此寄狀も郵便局の家へあがつて、茶菓を頂きながら認めて出しますのです。

今日は其馬のために厩を建てるとて子供とあづかつてある學生とが手づから建てゝ居ります材木は足許からありますから伐り次第で建て方も丸木の掘りたてですから金錢要らずに建ちますこれから炊事場や寢室や作業室皆内の手で作りますの。

今向の店で素破らしい操天下の活劇を觀ましたよ、亭主さん／＼飲んで泥酔の上、會、二本を携へ歸らんとするところ、操の君見附けて戸口より怒鳴り込みいきなり瓶を引きたくり店へ返さんとす、店主これは瓶詰めではなく態々詰めたの故受取らずと拒む女一寸考へて其びんを受取るや否や戸口の閾にヒシヤツと投つけて瓶は微塵に砕けて八方に散り酒は流れて川の如し亭主縮み上つて悄然とお伴して歸りました。

この一事よく海邊漁夫の女の態を語つて居ります一體この男女どちらが悪いのでせうか蛙聲會の研究材料に提出致します。

毎日勞働忙しく筆執る暇も御座いませんが次からは少し順よく書きたいと思うて居ります。

西川　文子様

蛙聲會御中

戀の會の記

夕の字

七月三日の朝、日向さんから「島林あぐりは突然死んでしまつた」と云ふ黑ワク付が〆の字の穴に舞込んだので、〆の字は、ちよつと皺醫を氣取つて、おくやみより先づ以て死因病症御見舞と云顧ふる珍な手紙を出した。するところんな返事が來た。

有髮尼の君へ

御心にかけられ御見まひの文たまはり御禮申上候診斷書をかき候醫師も手のものに候まゝ何とでもよの中へはいはれ候も、さすがに黑く、くまどられたる、たゞならぬ、たぬ殿の御目にあやしく見とがめられし上からは惡びれたる事いふべきにあらず、あぐりの死狀申上ぐべく候、實はうぶ聲あげし時より、ひよわらしき子なればとて育つ樣にと、あぐりの名つけ候もかひなく、ひきやうなり／＼と綿くびのくろさを今日まで持ちこたへて首もどうやら付き殘りなくなり候に、われから江戸つ子らしく自殺をおもひ立ち候わけにて是も平常の信仰によりキリストのやうに三日目によみがへり永遠の生

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

命に入るみこみあれば、あまり惜しくもなく大往生遂げし次第、御安心被下度候、その時にしたゝめし絶筆の文、時節がらかの瀧のもとしぬばむも心あらむとて。

日向　きむ

枕頭の感

悠々たる哉御大、奇拔なる哉この字、ひよわの文筆を以てこの友に伍せむとす、トクメイの言論何等のオーソチリーを價するものぞ每號の執筆は一言にてつくす曰く役すべからず我此事を悟つて、突然死を決するに至る、既に御大にいふに及んで胸中何等の議論あるなし、はじめて知る大なるひきやうは大なる樂がきに一致する事を、

あぐり

と、讀み終つたゞの字はそれから今度は尼僧に化けて普門品でもまゐらさうかと思つてゐると、追かけに斯んな、はがきが飛んで來た。

故あぐりの追悼をかね七夕の逢夜を祝して、戀の會ひらき度、その方は話せぬ、あぐりの紀念のためには大にその方の研究をするかた面白からむとおもひたち大竹一本用意いたし置候まゝ當日は五色の短册もそなへ置候間それに新なり舊なりの戀歌かきて、たなばたにそなへ、せめては後世には少しはわかる者と問うまろゝやう、いのりやり度そむじ候御贊成下され度候。午後三時より、たそがれまで盛んにいたし度ものに候。

蛙聲會の七夕祭（日向氏宅にて）

當日は他の問題はぬきにして………あなたとコの字が御正客

なきあぐりさんの供養のために戀の會？　それは近頃お目出度いはなし、とゞの字は其日をまちかれて、鐵紹の羽織に尻尾をかくして螢草咲く田端の高臺、今は亡きあぐりさんのお城趾日向さんのお邸の例の古風な御門をくゞつたのが七月七日の午後三時一寸前。

見下す水田、早稻あを〳〵と遙かに霞む筑波やま〳〵、さゝがにの糸に思案のそとなり姫のお軸の前には梔子の花一輪涼しやかなる夏座敷の椽の柱に今朝切りだての大竹一本、紫たんの文机には赤間硯に五色の短册、このお座敷にはちと不調和ながら白衣の洋裝お涼しそうな日向夫人とゞの字は戀の古茶碗の物語りなど眞面目くさつてしてゐる中に、文子さん、朝子さん平澤さん樋口さんなどニコ〳〵しながら梯子を上つていらしつた。一盞の氷ブドーに身中の汗も退いた頃、會主の日向さんは、さア皆さん書いて下さいれ、あぐりのために………あの短册はどうして下げませう　………紙捻をよつて

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

斯うして、とゝの字は紙を細く裁つ、文子さんは墨をする、さアあなたから……いえあなたお先きへと初めの中こそお互に女十八番の引つ込み思案も一皮ぬいでは所謂輪廓打破の大騒ぎ、笹の葉ずれもさら〳〵と書く人、釣る人、立つては讀んで感心する人茶化す人其中に連歌が初まる、連歌と言へばお人聞こそ良いけれど實を申せば皮肉に揶揄に素破ぬき、まぜつかへしの中には甘ひおのろけもたぷりあつ……た……たそがれ近い頃には讀みもよんだり、書きも書いたり、さしもの大竹の枝もたわゝに五色のいろにかくれる位、是れではあぐりさんも浮はずには居られますまい。御相伴によばれた牽牛織女の君達もサツカリンだの百合の香だのといろ〳〵耳新しい戀の歌、昔とかわつた七夕まつりに時代の推移を感ずつたでせう。

當日供養の戀愛行者の口から生れて笹にさがつた歌の數は

今もなほ同じ心の君とわれおもひ出多き七夕の宵　平澤ふく子

狸めが夕風慕ひ野に立ちて天の川見てかなしく笑みぬ　たぬき

ありとある歎ある戀のその中に年に一度の戀しのはるゝ　西川 文子

來む年のこよひをかけてねきまつるふた夜をゆるせ星しらす神　日向 きむ

七夕の流れも清き天の川ふち邊にたてる大和なでしこ　樋口 綠子

姿のみ尼とは見せて世の人をあざむかんとは思はざりしを　伊藤あさ子

思ひてもかひなき戀をいかにせむわするゝひまもなきぞかなしき　平澤 ふく

何事も知らぬが花の戀衣まだきぬさきの處女ともかな　西川 文子

そのはじめ御德したひし師の君をあゝはづかしき女こゝろよ　あさ子紹介　よみ人しらず

師にあらず友にもあらず戀ならずたゞ何となく逢ひたき君よ　西川ふみ子

黑髮もふりの袂も持たれども處女こゝろをわれは戀しぬ　伊藤あさ子　たぬき

天の川こえて逢瀬のうれしさをうらやみて見む七夕のそら　平澤ふく子

今もなほ待ちつ待たるゝ七夕にうつりごころはあらぬなるらむ　きむ

別れては又あひわかれ百とせに底ひをしらぬ永遠の戀　文子

誰もかも戀歌をよむ七夕のたのしき今日も今やくれなむ　平澤ふく子

戀なきに戀歌をよめとせめられてうたをよめずに汗を出しける　たぬき

今さらに人たのみして戀せんといふぼど狸しほらしきかや　文子

南洋の廣き天地に白熱の戀に狂へよ古國の男女　西川ふみ子

戀しらぬあぐりの君よ耳あらばこのあつまりのさゝめごと聞け　日向 きむ

ちりの世にながらふべくもあらぬ身にかりの契りや結ばざりけむ　樋口 綠子

なでしこの花うつくしき初秋の墓に問はむか君がありかを　平澤ふく子

あだに吹く嵐にちるやなでしこの惜めど時もせんすべもなし　樋口 綠子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なでしこよなでしこよとの品さだめ美くしけれど役不足なり　　き　む

思ひてもかひなき戀と知りながらまよふはしらず戀といふらん　　平澤ふく子

字を見ても變るは戀の化けすがた下の心を動かすなゆめ　　き　む

死んでみて又生きらるゝ世なりせば星の世界の趣味はいゝん　　西川　文子

くやましやんすな文子さん星の世界もわが戀なくば　　た　ぬ　き

森川の狸の君の腹つゞみいはぬ思ひのふくれいでけん　　き　む

小狸が締めに締めたる腹つゞみ打あかすべき月星と思ふ　　た　ぬ　き

御佛を祈る心の折々はかされをまれるそのかなしさよ　　あ　さ　子

早くかへりて戀人の御飯の仕度するといふさぞ　　あ　さ　子

甘からむその御馳走は　　た　ぬ　き

サッカリンと蜜と砂糖とこれまぜて衣なきせて伊藤にかませむ(朝子さんに)　　た　ぬ　き

文　子

わが戀は純白の花甘きにほひ洒々たるすがた口なしの花　　西川ふみ子

發本のこの字はいづら三千の美男のうわさきかましものを　　き　む

戀といへば百合の花にも似たれども野合の匂ひあぢさゐの花　　ふ　み　子

サッカリンと百合のにほひに責められて狸は戀をウンザリ思ひぬ　　た　ぬ　き

なつかしさつのりつのりていつしかに戀しきまでになりにけるかな　　ふ　み　子

狸にも戀のこゝろはあるものを人のみと思ふ君あはれなり　　た　ぬ　き

理智と自尊よはあざむけどいつはれぬ心の底のよな〳〵のゆめ　　ふ　み　子

赤黄色、綠、紫かずあれど白き戀なき浮世うたてし　　き　む

くやましな色ありてこそ戀ならめ白きはそまぬをだまきの糸　　た　ぬ　き

ふ　み　子

しづや〳〵しづのをだまき繰かへすはつ戀ならばたのみがたなし　　き　む

道づれのなきは寂しくあるは亦うたてきものよ戀の人生　　ふ　み　子

筆とりて戀といふ字をかきならべむかしの戀を思ひほゝゑむ　　た　ぬ　き

馬車もよし汽車自働車更によしゆかしき君と夏の夕たび　　ふ　み　子

一分に三つ四つもよむ歌なれば秀逸なしと笑はざらなむ　　き　む　子

朝夕にみなれつくせし夫と妻ふと行あひてさと赤らみぬ　　ふ　み　子

しほらしと化されたりな文子さんやさしいお方と腹つゞみ打つ　　た　ぬ　き

新らしと笑はゞ笑へあやまれる皮相の評や歯牙に足らじな　　樋口　綠子

若き胸にきざみ初めにし戀こゝろ十とせ經れどもふりしともみず　　ふ　み　子

古し戀を今さららしくいふ文子第二の戀を瞑想するらし　　た　ぬ　き

人なみに戀の心はありながらすれて化かして人をひやかす　　ふ　み　子

現し世をすれて狸と笑はば笑へ腹にや戀あり涙も御座る　　た　ぬ　き

そろ〳〵とうす氣味わるきたぬき姫うしみつこ

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ろが思ひやらろゝ　　きむ

以下連歌

人のよに戀といふ字のなかりせば　　きむ
詩人作家の口はひあがる　　文子
イヤといひオーと聲かけ狸どのが　　きむ
人の戀さゝ腹つゝみ打つ　　たぬき
はてもなく戀歌をしろす短冊に　　ふく子
おのろけもかく女ありけり　　たぬき
戀を罰する法律は馬鹿よ　　たぬき
こひはわがよの花にぞありけろ　　緑子
田端臺に戀愛行者あつまりて　　たぬき
こひ歌なうたふけふぞうれしき　　ふく子
七夕の戀の歌屑かき集め　　ふみ子
整理委員となりにけろかな　　きむ
每號の編輯のみか戀うたの整理委員もふみ子に
しかは　　きむ

以下俳句

天の川電車レールと十文字　　たぬき
若人の戀の匂ひもかゝはしや　　緑子
明けくれにしのぶは君の姿なり　　ふく子
七夕に戀歌を叫ぶ新婦人　　たぬき
物思ふ事いやふかし七夕の宵　　ふく子

七夕に奉る戀の歌十首

小口　みち

古き歌反古より

わがために礒のかなりは枕して、ぬる夜をおもひ識はつみたまへ、

うたゝれの夢に侍らふ女の宿、蹈かぞえて夜をふかしけり、

花と云ふ花をあつめし宮にゐて、花の后と呼ばしめたまへ、

おもひ出の其おばしまや夕雨や、芙蓉こぼれて人面やせて

稲妻のおり〳〵見する杉垣に、傘とかさとのうき別れかな、

白蓮華、佛の國か星はふろ、こゝも我世か涙しみくろ、

世にあらぬ我よの外の世とも見ろ、夕山みちの雲ちぎれ〳〵

に見しよべの流れにそゝろ來て、乗りし小舟の影畫くかな、

幼き日野に親しみてつみすてし、花の怨の我はかな戀

けふよりは戀の墓守すむ門に、花も白衣の蓮咲きにけり

▲八ツの夜　愛子叢書の第四編として實業の日本社から發行されたものです。既に島崎藤村氏の「眼鏡」田山花袋氏の「小さな鳩」德田秋聲氏の「めぐりあひ」が出て居て、いづれも無邪氣な矛盾のない新らし味のあるお伽噺であるが、これは與謝野晶子氏の作で、十二になる綾子さんと云ふ子が八日間の夜丈けお母樣の手より神樣にあづけられて、同じ年頃にあるさま〳〵の社會、いろ〳〵の境遇にある、娘さんの一日づつを催眠術にかけられた樣にして經驗させて貰ふと云ふ面白い中によい敎訓の含まれたものです。同年の小供の讀みものとして可愛い面白いのは云ふまでもなく。又もつと小さい子供の爲めには、お母さんが讀んでおいて話すのに至極よい本です。

（定價　各冊共金四拾錢實業の日本社）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲鐵道院旅行案内 （鐵道院發行）

昨年鐵道沿線遊覽地案内として同院より出版された菊版製のものを四六版にして携帶に便ならしめ、頁數な百餘頁も增加し、挿繪にも五十三次の繪畫を極彩色そのまゝの日本紙にて數葉挿入し、至る所の名所も天然色寫眞版にして、記事に於ても昨年より改良增訂されし點多く體裁も優美に完成されたものです。卷末に鐵道線路の圖を袋入れにして附けてあるなどは一々出し入れして見るに至極便利です。よほど考へたものだと感心しました。民間では容易に出來ないこんな立派なものを每年出版されて、旅行家の便を計られるのを感謝します。これは非賣品であるが、同院が博文館に對し飜刻販賣方承認してあるので、之れと同樣のものが博文館から相當代價で發賣されます。

編輯餘錄

前號初頁の高安先生の詩「流れごころ」不注意の爲め、誤植が思はず多くあつて、編輯者も此上なく不愉快に思ひました、誤植といふものほど氣になるものはありませんから、私はいつも一生懸命見るのですが、これは角別外のものとは一層注意しなければならぬものを、先生に深くおわびいたします。

誤　　正

日影もすべるの日は――火

靈と眞白の鳥もなしの靈は――靈

上いく三すじのいは――行くじは――ぢ

先生よりわざわざおことはり自筆に一驚しましたがそれでまた見くらべる人もありませうから誤字も直分るでせう、あつい間は頭を休ませますがすゞしくなつたら「現代女詩人の叫」をお取次申しませう。たかやす

△古山慶子さんは淺草區龜岡町から赤坂區青山高樹町三に轉居されました。

△伊藤朝子さんのお良人は暑氣あたりで一時は發熱三十九度以上にも上られ、隨分に御心配なされたそうですがモー全快になりました。

△新眞婦人每號御惠與に預り有難く御禮申上候世間見ずの私如きものには、此上なき良書と誠にたのしみに拜見致し居り、實は是非御伺致し親しく御禮申述べたくと存じながら、遂々忘りがちにて只今に相成申候、何れ其内必ず拜顏の期もあるべく萬事其折にゆづりて。末筆ながら酷暑の折から皆樣の御健康の程祈り居申候匆々

（松藤くめ子樣より）

△井上すみ子さんの御良人の御親父井上賴圀文學博士が、皆さんも旣に御承知の通り七月初旬に御逝去被遊ました、多年斯學の爲めに多大の御貢獻被遊した博士はなほ今後まだまだ御盡し下さる事を世人も期待し、博士も大なる抱負を御持ちになつておられたると思ひますのに、思はず他界されましたのは、誠に悼ましい極みで御座います。

△岩崎愛子さんは七月初旬より良人醫學士岩崎殿氏と御同道にて鎌倉に避暑されました。

△池內澄子樣は此度お結婚なさいまして、多川と御改姓になり、七月中旬日光より鹽原に新婚旅行に御立ちになりました、

△江木榮子夫人　例年の通り七月上旬より輕井驛に御避暑になりましたが、江木博士が避暑地で御病氣になられたので目下專心看護されつゝある相です、一日も早く御全快になる事を祈ります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の選擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後六時過ぎに御出で下さい。

投書募集

▲和歌、俳句、感想文などの投書を歡迎します。

▲毎號新刊小說を讀みての感、劇を見ての感などの投書を歡迎します。

本誌擴張に就て

本誌擴張の爲め毎月御寄附下さる贊助金は擴張の爲め本誌を見本として方々へ御送りする費用に當てゝ居ります、なほ御一人でも多く讀んで欲しいのですから、五部でも十部でも擴張費を御出し下さつて、直接又は本社から御友人知己未知の方を問はず御發送下さる事を切に御願致します。

七月中贊助金領收

金貳圓也　毎月二十部づつ　日向きむ子樣

金貳圓也　毎月廿部づつ　三の村きよ子樣

金拾圓也　毎月百部　高野重三樣

金壹圓也　毎月十部　吉岡彌生樣

金壹圓也　毎月十部づつ　井出茂代樣

金壹圓也　毎月十部づつ　山下まつ子樣

新眞婦人定價表（毎月一回一日發行）

一冊	（郵稅共）	拾壹錢
半年分	（郵稅共前金）	六拾錢
一年分	（郵稅共前金）	壹圓拾錢

御注意　●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料　特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年七月廿八日印刷納本
大正三年八月一日發行

發行兼編輯人及印刷人　本鄕區駒込林町二〇六番地　西川文子

印刷所　本所區番場町四番地　凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄕區駒込林町二百六番地　新眞婦人社
郵便振替貯金口座　東京二四五五六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顏の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尙ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二

理容館

電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

恐るべきペスト其他の傳染病流行す
アルボースの
使用一日もおこたるべからず

最も人にきらはれる
わきが
の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まる丶御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します
東京神田區錦町三ノ三　中村喜三郎

腦神經精神病
東京赤坂
帝國腦病院改
青山腦病院
院長ドクトルメヂチーネ齋藤紀一
醫學士三名
田澤醫學士
特長
電芝二七四五
電芝二六六五
電芝三四〇六

皮膚病一切
たむし〳〵の妙薬
タムシン
東京市京橋區入舟町四丁目
本舗　橋本進世堂

腦病精神病專門
東京田端
東京腦病院
電話下谷三三〇二番
院長　後藤省吾
醫學士　黒澤良臣

脳病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨脳病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病 患者と血統者に急告す

秘密療法及豫防新書を送費二錢送れば無代送呈す一日遲れば千日の悔あり今直に申込め秘送は小包料八錢要

東京下谷車坂町五二 福田秋水

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム專門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

わきが 新法發明

本院新研究の療則は全く他藥と異なる●之を數千名に實驗するに效力的確全快の禮狀感謝狀續々來れり●同情の餘り紹介し且新式わきが根本療法書無代呈す東京本所中ノ郷元町三一（電話本所三三四二）東京新療院藥品部宛ハガキにて申込まれよ

◎靈界未曾有の珍書◎心的生活の新光明◎

新神秘主義觀自在生る!!! 現代の新思想と共鳴するイマジネエシヨン

一度基督敎を信じて基督敎を出で更に佛敎に歸依して復佛敎を脱し

婦人問題の世界的解決者を以て自任し夙に新眞婦人會の頭目となり

觀自在宗祖木村秀雄氏と共にイマジネエシヨン新神秘主義を唱へ

口に筆に其の新主義を鼓吹し法術を以て惡癖疾病を救治しつゝある

觀自在術宜傳者 木村駒子女史新著

自叙傳體 觀自在術

四六版四百頁 裝釘優麗 寫眞數葉入 定價金壹圓廿錢 郵稅金八錢

本書力めて抽象的説述の法を避け具體的に實驗の由來を細敍し

現代思想と共鳴する新神秘主義を仄かし觀自在術・修得法を力説せり

本書は實に一種の宗教哲學書にして兼て又一種不思議の法術書なり

一面運命數奇なる女子夫妻の自叙傳にして兼て閨秀神秘家たる女子の神秘觀なり

告白大膽!! 筆路奔放!! 藝術的氣品全紙に漾ふ!!

發兌 東京市本鄉區森川町一番地 株式會社 育成會 電話下谷二四一四 振替口座東京三九〇八番

月刊大雜誌

世界之日本

定價金十五錢　郵税一錢五厘

八月號

半年分八十五錢　一年一圓六十錢

●八代海相と語る　立憲青年黨幹事長　橋本徹馬

●國防問題論　片桐酉次郎

●犬養の魂膽　匿名氏

●水國の夏　長橋大河

●余の婦人觀　尾崎行雄

●世界無錢徒歩旅行實驗談　無錢旅行者　菅野力夫

●最近の感想　日向きむ子

●ルツソー論　阪本正雄

●現代一百人（現今政治界、實業界、宗教界、文藝界の名士一百人を紹介し且つ大に稱讃し或は罵倒す）

宗教界之僞物を征伐す（全國宗教家の人名を悉く擧げ以て是等に一大痛棒を喰はす）　社説

●浪六と語る　鐵鞭子

●姉妹（小說）　佐藤滿壽子

●近事評論（本誌記者の時事評論にして滿鐵問題内相問題日米問題選擧權擴張問題に觸れて痛快極なし）

●危險を犯したる予が半生の經歷　黑龍會　内田良平

●予が好む古來の偉人　島田三郎

●セシルローヅを憶ふ　永井柳太郎

●炎熱の戰士（信州岡谷の製糸工場　東京中央電信局）

●天幕生活論　醫學博士　佐伯矩

●讀者趣味欄

●文章詩歌

◎世界之大勢

◎社會日誌

發行所　東京神田仲猿樂町十七　世界之日本社　電話本局五二一四　振替東京二六八六

大正之日本

□毎月一回一日發行□
□一部郵税共十六錢□

八月號

□壹ヶ年分前金壹圓八拾錢□
□六ヶ月分前金九拾錢□

剛健なる青年の必讀すべき無二の産物

◎伯爵山本權兵衛閣下に與ふるの書……社説

◎滿鐵會社を民有に移せ……貴族院議員 鎌田榮吉
◎時事所感……前遞信大臣 元田肇
◎防務會議無用論……衆議院議員 松田源治
◎徴兵令は獨逸の中毒也……陸軍大尉 西本國之輔
◎國民教育刷新の必要……ドクトル 長瀬鳳輔
◎國防問題根本的解決私見(二)……衆議院議員 澤來太郎
◎宗教と社會(上)……東亞女學校長 田中舍身
◎余は如斯性を有す……法學士 守屋源治郎

社論

◎大隈首相藤堂伯より十萬圓を强請る……
◎唾棄すべき滿鐵紛擾の裏面……
◎正義の假面を蒙れる醜類の裏面……
◎僞君子島田三郎◎變節漢尾崎行雄◎御用商人加藤政之助◎賭博の親分八田裕次郎◎誇大妄想狂太田三次郎◎高利貸片桐酉次郎◎狒々爺村田保

◎敢て加藤外相の責任を問ふ……社説

理想ある青年の寸時も離し得ざる良雜誌

◎日米戰爭は果して避け得らるべき乎……旭東生
◎南洋事情(殖民欄)……井上雅二
◎源頼朝小傳(史誌)……生田目旭東
◎黒岩周六論(人物月旦)……鵜崎鷺城
◎現代浪人の妻の日記(七)……栞女史
◎時事評論……素降子
◎北米より……圖南
◎其他諸博士の意見數稿
◎隨感漫錄……快洋生
◎編輯局窓より……
◎モーセの歌并にみつゑ……紅蓼

大賣捌
東京堂 良明堂 有斐閣 東海堂 上田屋 金華堂 其他各書店

東京市四谷區坂町八十番地
申込所 大日本青年黨本部
電話番町五千四百一番 振替東京二五九〇二番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

文學博士 井上圓了先生新著

おばけの正体

總振假名美本
定價五十錢
郵税八錢

本書は妖怪研究の大家たる井上博士が明治維新以後今日に至るまで日本の各地に起つた妖怪事實の中で特に珍な者奇な者恐ろしい者悽い者悲しい者憐れな者面白い者馬鹿々々しい者百三十件を調査して一々その原因を示し百鬼夜行の眞相を明にした快著であつて怖がるくせに化物話を聴きたがる子供のためにも「幽靈の正體見たり枯尾花」などと悟つたつもりの大人のためにも趣味と實益とを與へること多大である

文學博士 井上圓了先生著

活佛教

定價一圓十錢
郵税金八錢

文學博士 井上圓了先生著

南半球五萬哩

定價九十錢
郵税八錢

東京小石川區原町 振東京一五六八六 丙午出版社

東京小石川原町 振東京一三五三 鷄聲堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ホシ小兒專門藥

▲ホシ小兒專門藥は世界最進の學理と實驗とを參酌し小兒の體質を主として製劑された空前の理想的小兒藥である

▲小兒の死亡率は世界を通じて最も多い世の親たる者細心の警戒を要する速に本劑を常備して愛兒の健康を計られよ

全國各特約店にあり

定價美罐入一箇金拾錢　六箇箱入金六拾錢

資本金百萬圓

星製藥株式會社

東京京橋區南傳馬町三丁目（電話京橋一七八五番 振替東京二〇五二二番）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏は海邊にヨキ友つれて日ヤケせぬよと

ホーカー液

海邊ばかりでなく常に家庭に入らつしやる時最新最良の化粧料**ホーカー液**をお用ひなさい、そうしてお父サマのヒゲソリの後お母サマ、お姉サマ、芳チヤン、赤チヤン、皆々この家庭御化粧料ホーカー液を朝な夕なにお使ひなさい。

本品は畏くも宮内省御買上の光榮を辱す

●ホーカー液の効……日ヤケを防ぎ……色を白くし……キメを細かに……ニキビ吹出物によく……ノミ蚊等の害を防ぎ子供衆の皮膚を丈夫にし……紳士のヒゲソリ後によく……白粉下……白粉のトキ水に用ひてノビよく…・鉛毒を防ぐ其他朝夕洗顔後又浴後に使用せらるゝ時は心持が一層せい〱と致します

小瓶20、中瓶40、大瓶80、到る處の信用ある小間物店、藥店、雜貨店に販賣す

粗製の僞物あり、『東京馬喰町堀越二八堂ホーカー液』に御注意を乞ふ

本舗　東京馬喰町　**堀越二八堂**

夏の趣味

夏の趣味は、露のひぬ間の朝朝、涼風わたる夕夕、ライオン歯磨と親しみて、しみ〴〵と現代的氣分を味ひ、生き甲斐ある生の充實を感ずるに在り。それにはライオン歯磨の煉製よし。水製更によし。殊に近時の社交界にては、接客の最も氣の利いたる方法として、ライオン水歯磨の含嗽を侑むるに至れり。而して此風今や旅館レストオランを徇へて、更に穩健なる社會中流以上の家庭を動かしつゝあり。

社交界の新流行

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年七月二十八日印刷納本
大正三年八月一日發行（毎月一回一日發行）
定價金拾錢